

北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

【調査の概要】

令和4年10月4日（火）の北朝鮮によるミサイル発射により、ミサイルが我が国の上空を通過した事案に関し、Jアラートにより避難の呼びかけ等の情報伝達が行われた地域（北海道、青森県）に居住されている住民の方々を対象に、当日の意識・行動等について、共通の設問により、市役所・町村役場による住民アンケート調査及び民間調査会社によるインターネット調査を実施。

（1）市役所・町村役場による住民アンケート調査

① 調査方法

Jアラートによる情報伝達が行われた2道県219市町村において、市町村の職員が、市役所・町村役場の窓口を訪れた方の中から、任意で選定した住民の方（原則として、市は男女各5人、町村は男女各3人）にアンケート調査への回答を依頼。なお、年齢層に偏りが生じないように配慮。

② 調査実施時期及び回答状況

○ 調査実施時期

10月25日～11月8日

○ 回答状況

2道県219市町村 1,459人（回答率97.7%）

（2）民間調査会社によるインターネット調査

① 調査方法

民間調査会社が、Jアラートによる情報伝達が行われた2道県に住所を登録しているモニターから抽出した方に回答を依頼。なお、各道県の人口における年齢構成に合わせて回答を依頼。

② 調査実施時期及び回答状況

○ 調査実施時期

11月9日～11日

○ 回答状況

2道県 4,000人

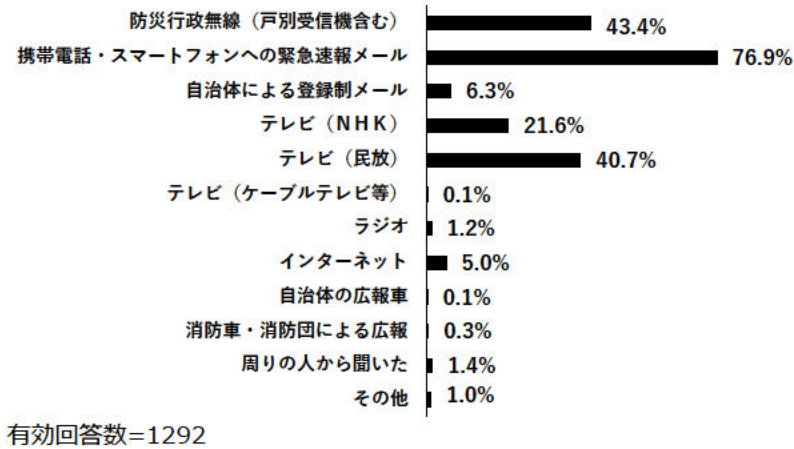
北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

【調査の結果（抜粋）】

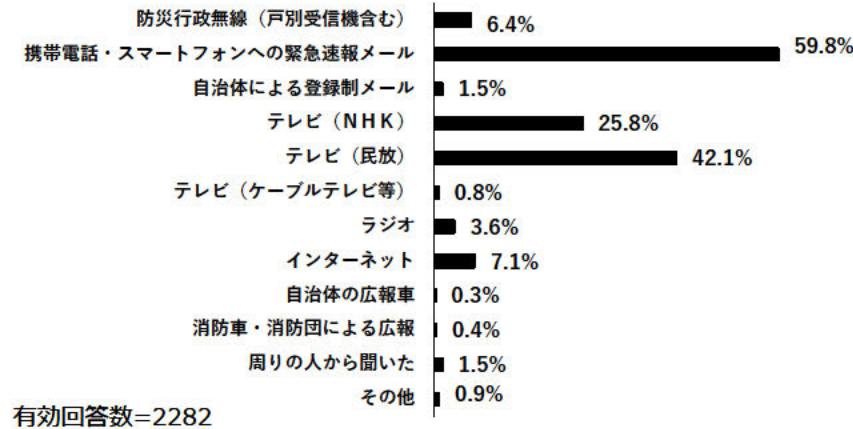
・ミサイルが発射されたことを知った手段としては、両調査ともに「携帯・スマートフォンへの緊急速報メール」が最も多かった。緊急速報メール以外の手段では、「テレビ（民放）」や「防災行政無線（戸別受信機を含む）」が多かった。

問4（1） どのような手段でミサイル発射について知りましたか？（複数回答）

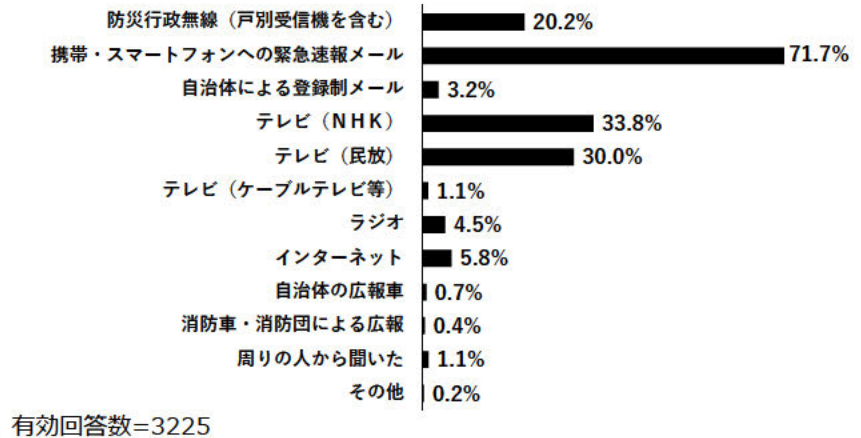
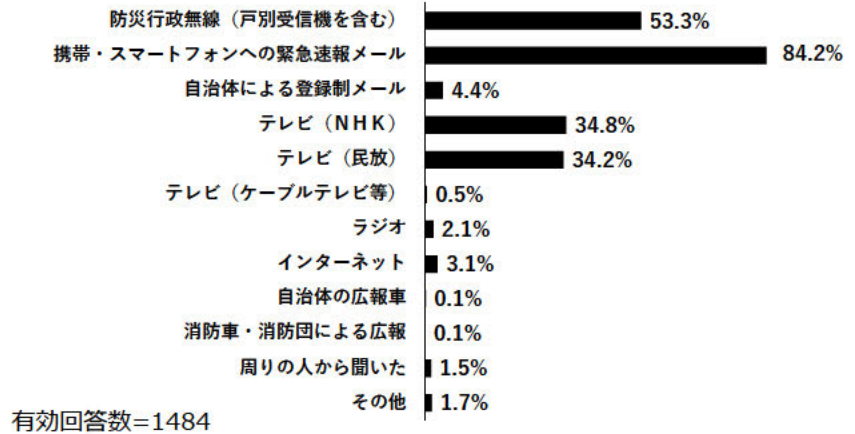
住民アンケート調査



インターネット調査



【参考：平成29年調査（8月29日の事案）】



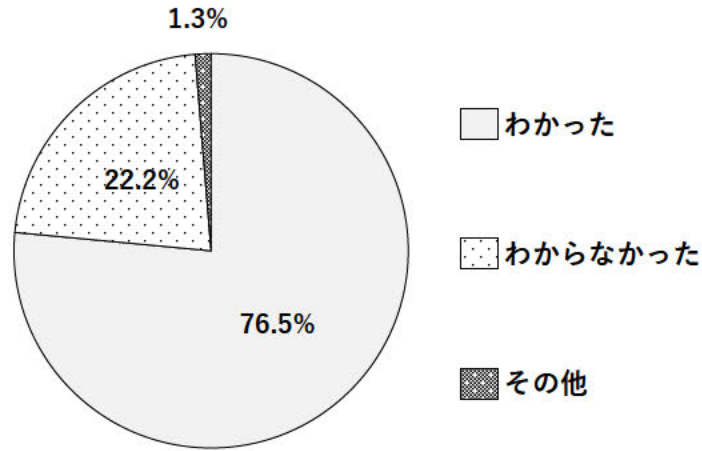
北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

・発射情報のメッセージで「何をしたらよいかわかった」と回答した方が、住民アンケート調査では70%台半ばに、インターネット調査では60%台後半にとどまった。

問5 伝達された発射情報のメッセージで、何をしたらよいかわかりましたか？

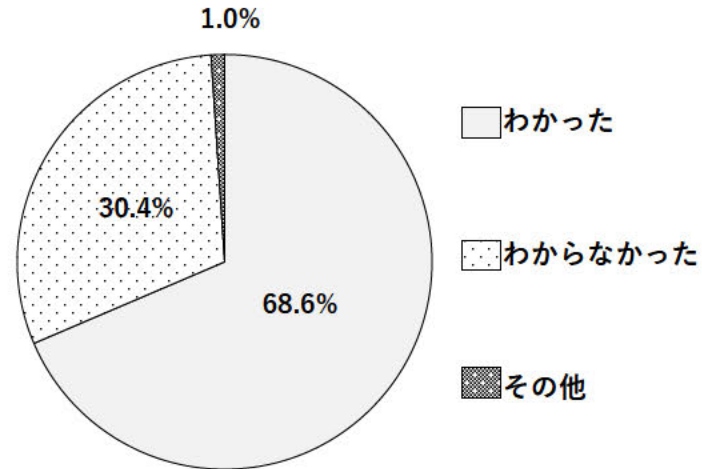
【参考：平成29年調査（8月29日の事案）】

住民
アン
ケ
ー
ト
調
査

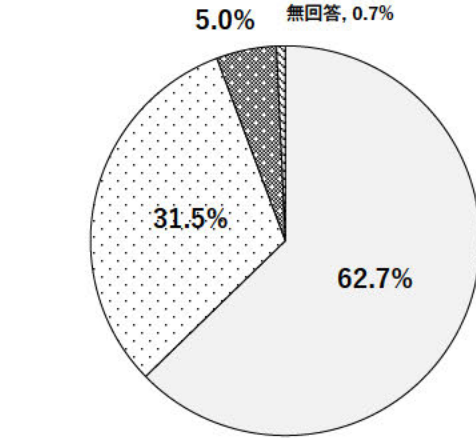


有効回答数=1157

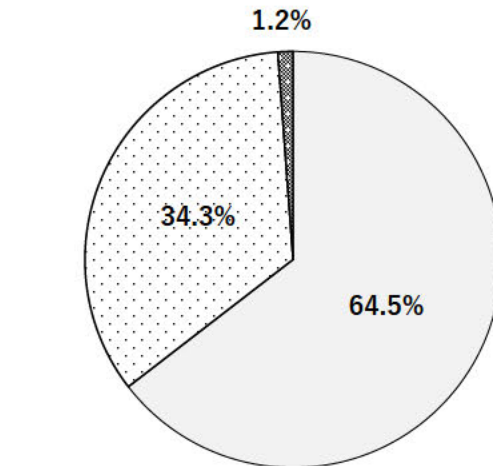
イ
ン
タ
ー
ネ
ッ
ト
調
査



有効回答数=1432



有効回答数=1382



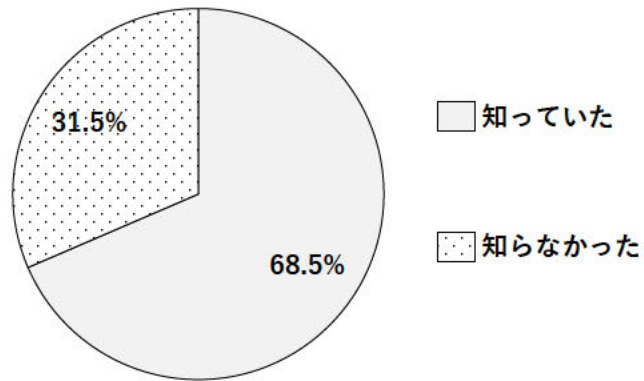
有効回答数=2566

北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

・弾道ミサイル落下に備えてとるべき身の安全を守るための行動を「知らなかった」と回答した方が、住民アンケート調査では30%強、インターネット調査では40%いた。

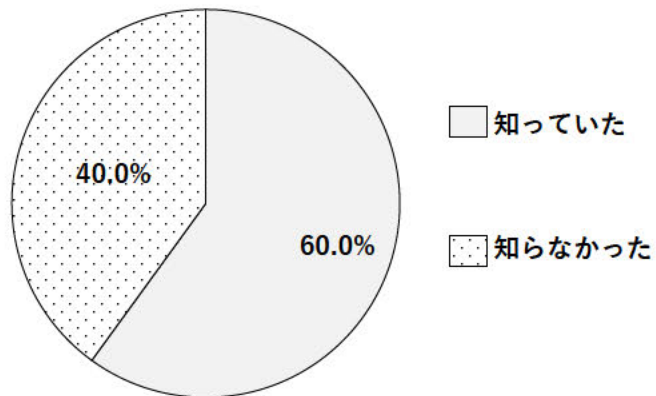
問9 弾道ミサイルに備えてとるべき身の安全を守るための行動をご存じでしたか？

住民
アン
ケー
ト
調
査



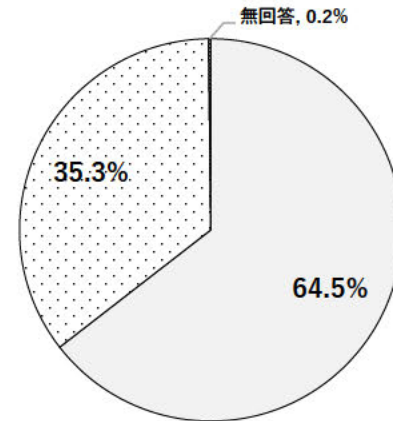
有効回答数=1452

イン
ター
ネ
ット
調
査

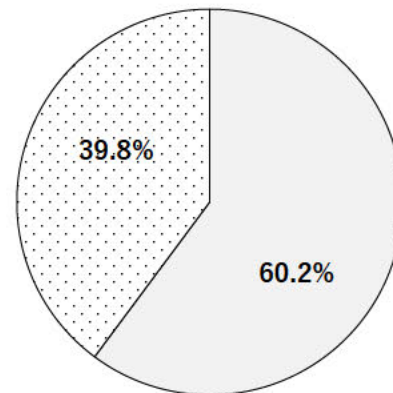


有効回答数=4000

【参考：平成29年調査（8月29日の事案）】



有効回答数=1645



有効回答数=5000

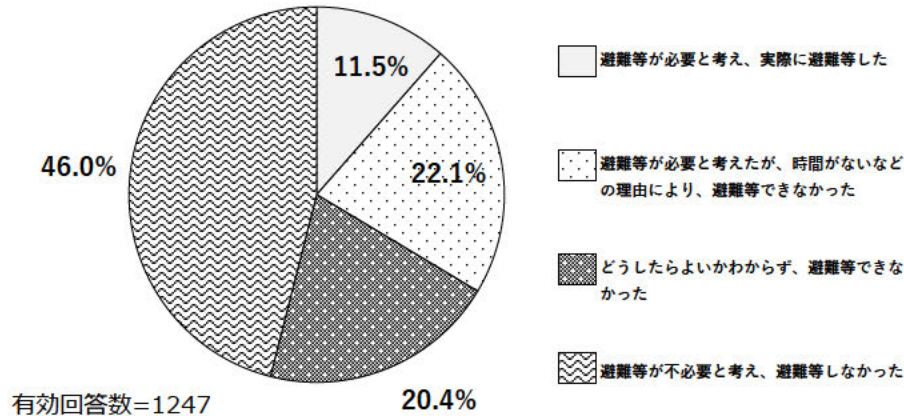
北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

・ミサイルが発射されたことを知っても、避難等が不必要と考え避難等しなかった方や、どうしてもよいかわからず避難等できなかった方が多かった。

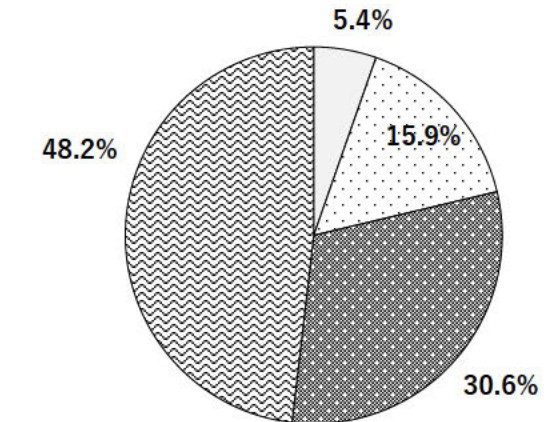
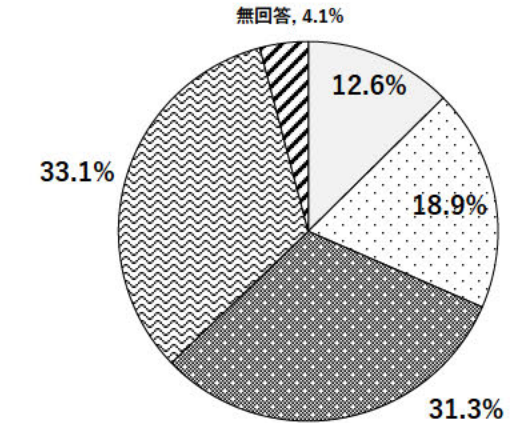
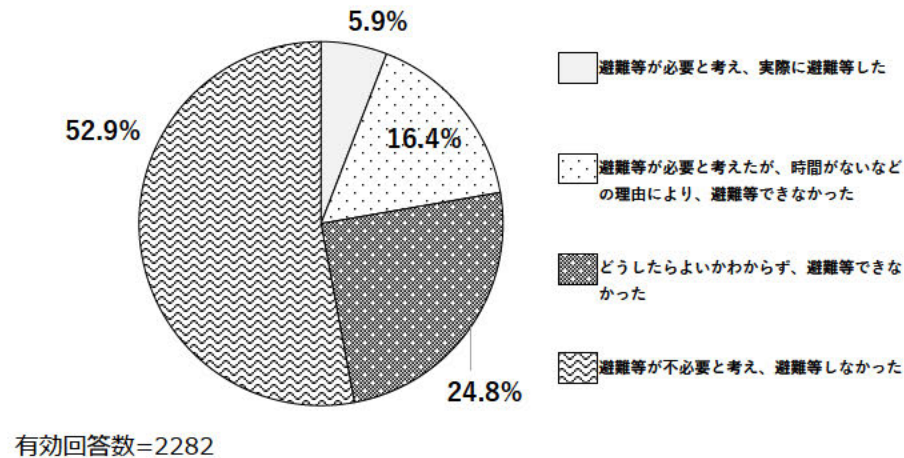
問11 ミサイル発射を知った後、避難等をしましたか？

【参考：平成29年調査（8月29日の事案）】

住民
アン
ケート
調査



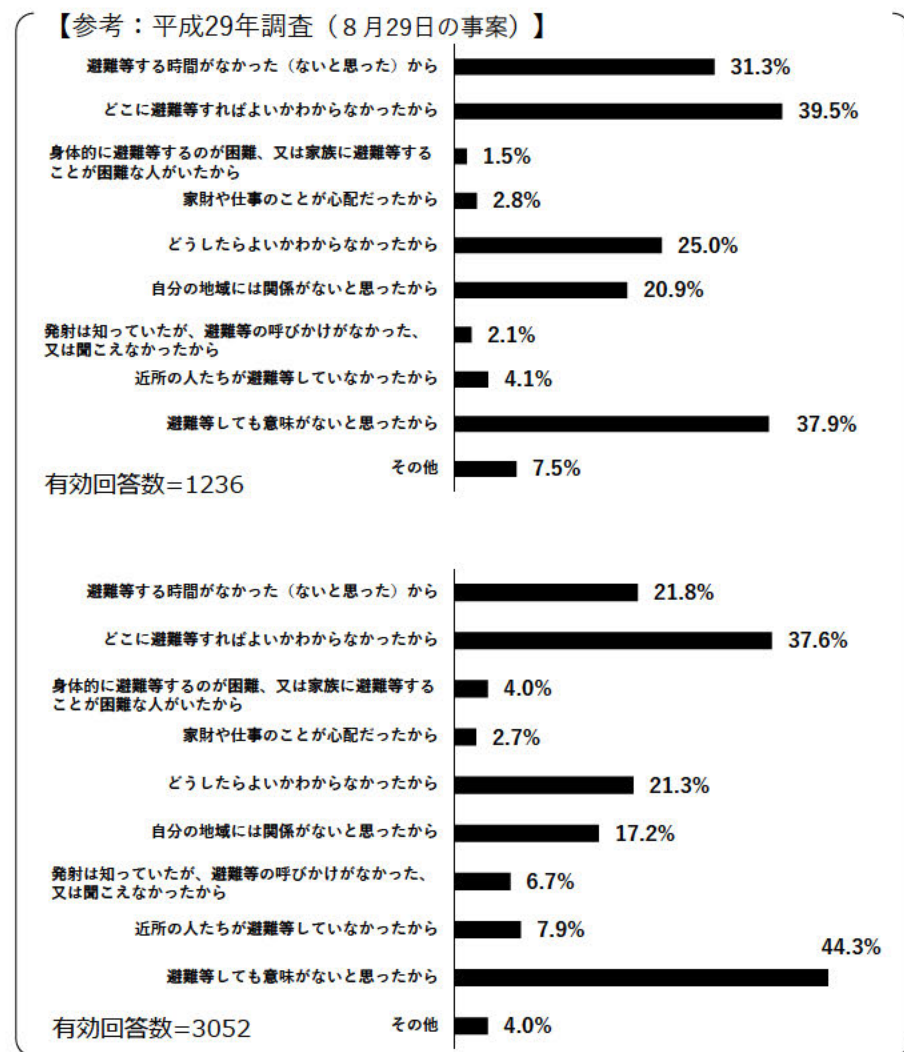
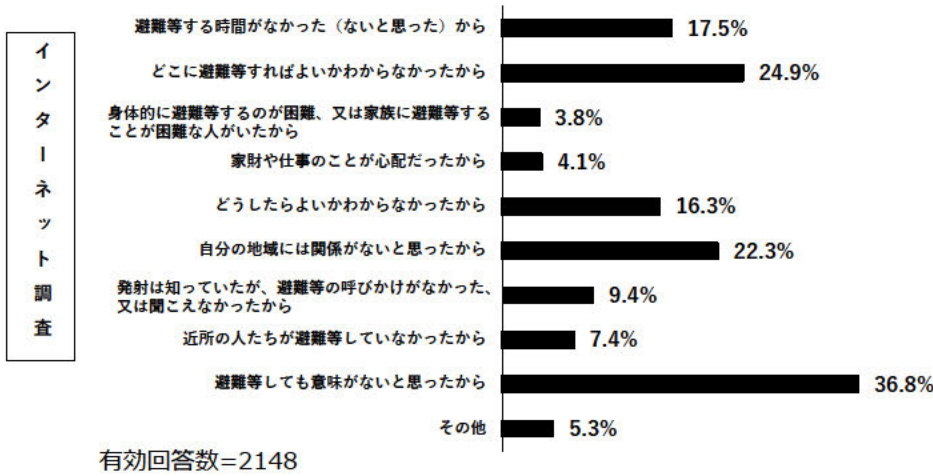
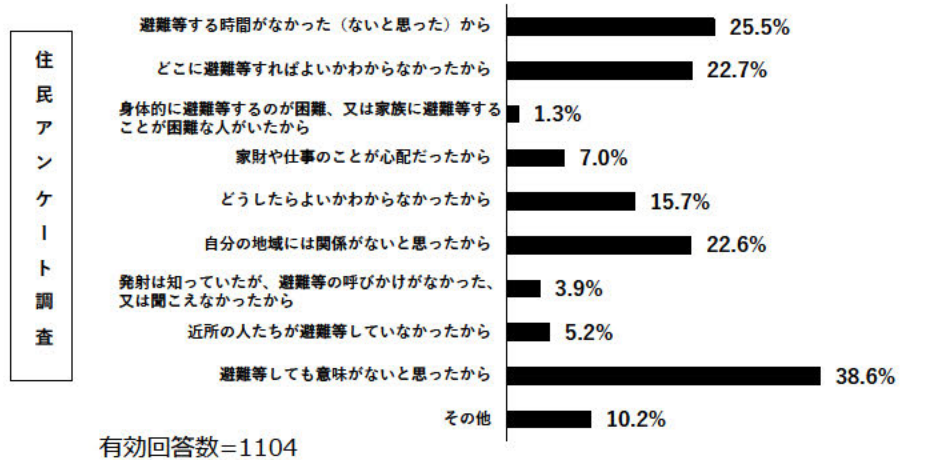
イン
ター
ネッ
ト
調
査



北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

・避難等しなかった理由については、「避難等しても意味がないと思ったから」、「避難等する時間がなかった（ないと思った）から」、「どこに避難等すればよいかわからなかったから」が多かった。

問14 なぜ避難等できなかった（しなかった）のですか？（複数回答）

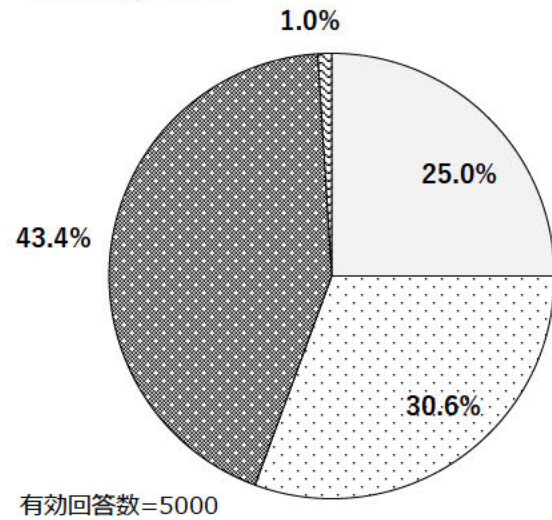
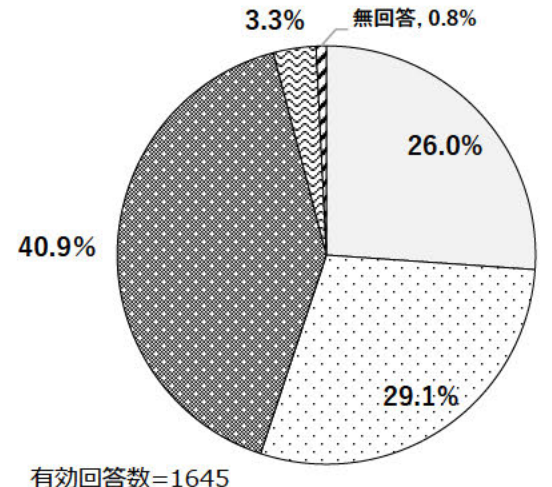
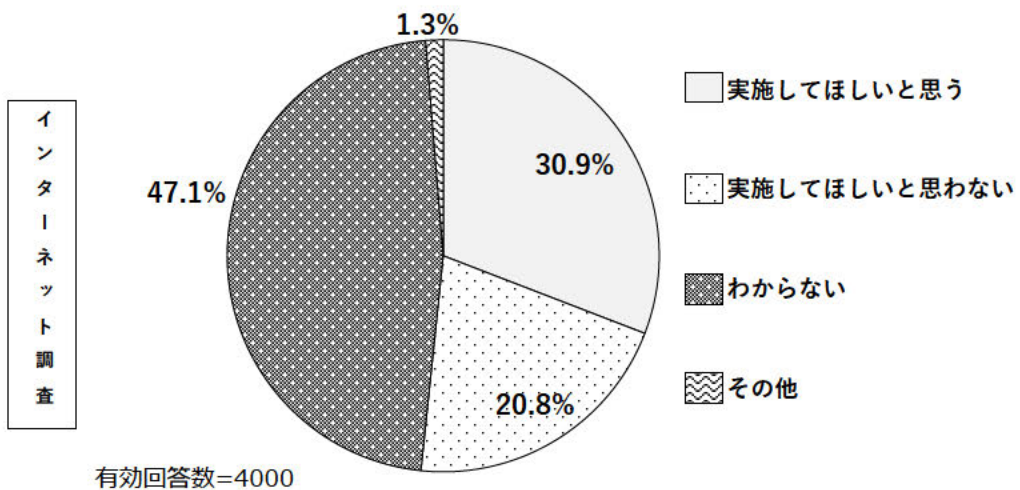
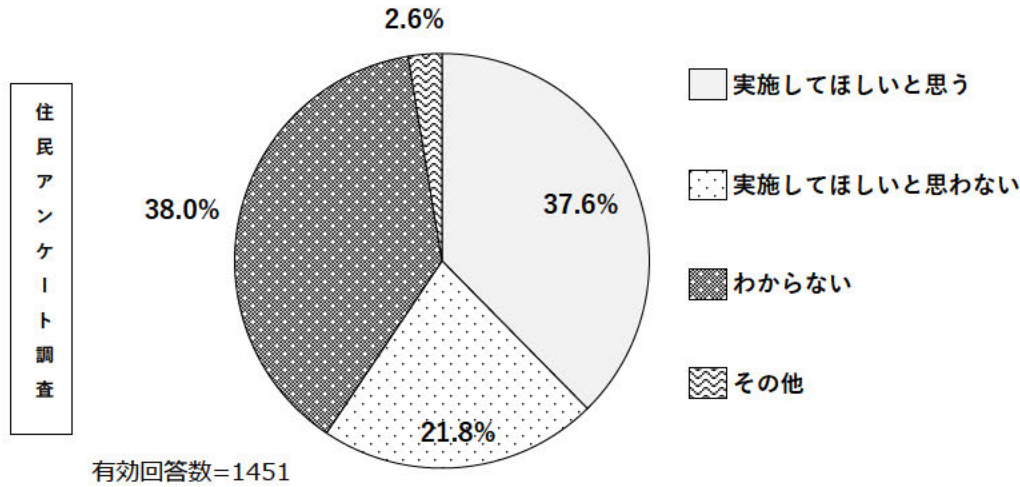


北朝鮮によるミサイル発射事案に関する 住民の意識・行動等についての調査

・5年前の調査に比べ、今後、自治体等による住民避難訓練を実施してほしいと思う住民の方の割合が、住民アンケート調査では10ポイント強、インターネット調査では約5ポイント、それぞれ増加した。

問17（4）今後、自治体等による弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施してほしいと思いますか？

【参考：平成29年調査（8月29日の事案）】



北朝鮮によるミサイル発射事案に関する住民の意識・行動等についての調査

(住民アンケート調査)

調査結果

令和4年12月

【調査概要】

令和4年10月4日の北朝鮮による我が国の上空を通過する弾道ミサイルの発射に際しては、全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用して、国民の皆様へ情報提供したところです。今回、今後の国民保護施策の参考とさせていただくため、Jアラートにより弾道ミサイルに関する情報伝達が行われた地域（北海道及び青森県）に居住されている住民の方々を対象に、当日の意識・行動等についてアンケート調査を実施しました。

●調査方法

Jアラートにより情報伝達が行われた以下の2道県219市町村に調査を依頼し、市役所・町村役場の窓口を訪れた方の中から任意で選定した方にアンケート調査にご協力をいただき、回答いただきました。

Jアラート送信地域：北海道、青森県

●調査実施時期及び回答状況

○調査実施時期

10月25日～11月8日

○回答状況

2道県219市町村 1,459人（回答率97.7%）

<令和4年10月4日の事案の概要について>

7：22頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射。

7：27頃 北海道及び東京都島しょ部に対し、7：29頃、青森県及び東京都島しょ部に対し、それぞれ発射情報がJアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。

「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難してください。」

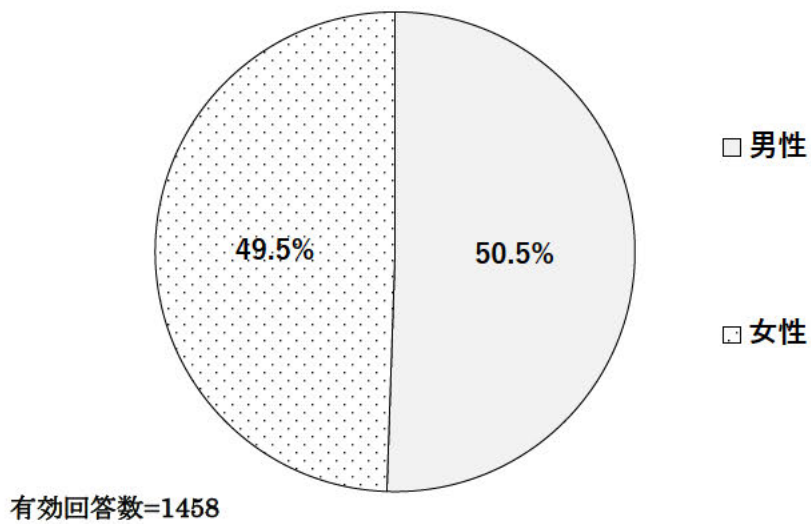
7：42頃 通過情報がJアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、07時29分頃、太平洋へ通過したものとみられます。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

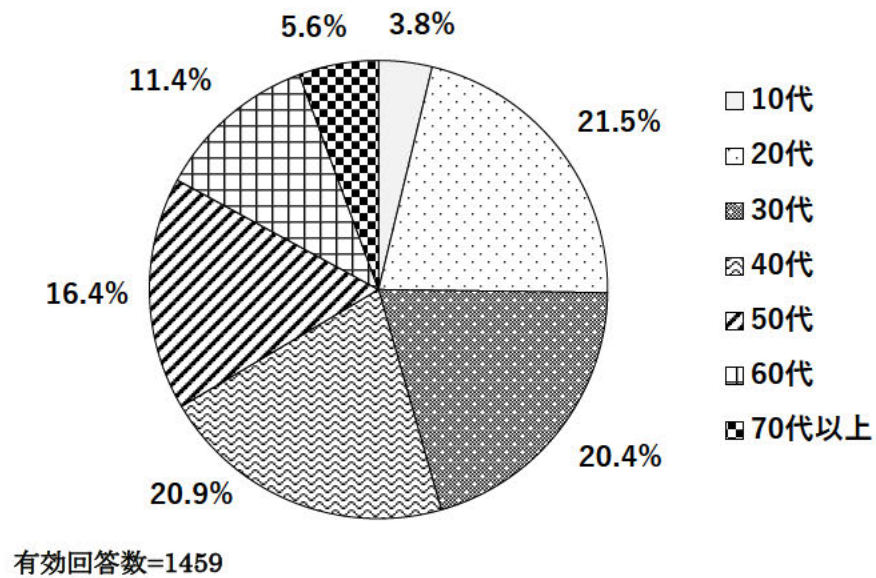
【調査結果】

1 アンケート回答者について[問1]

性別

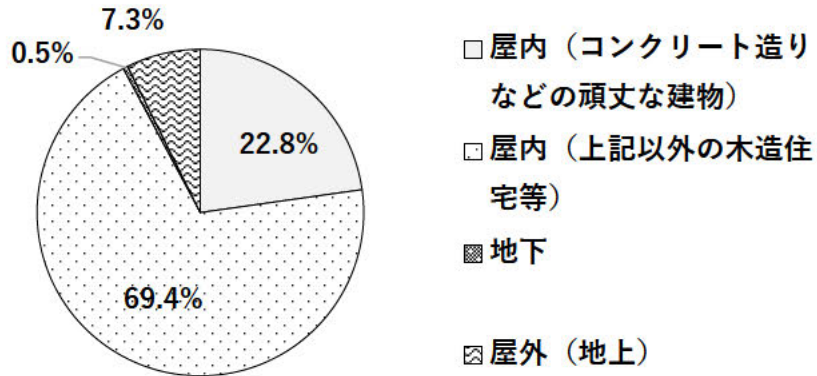


年齢



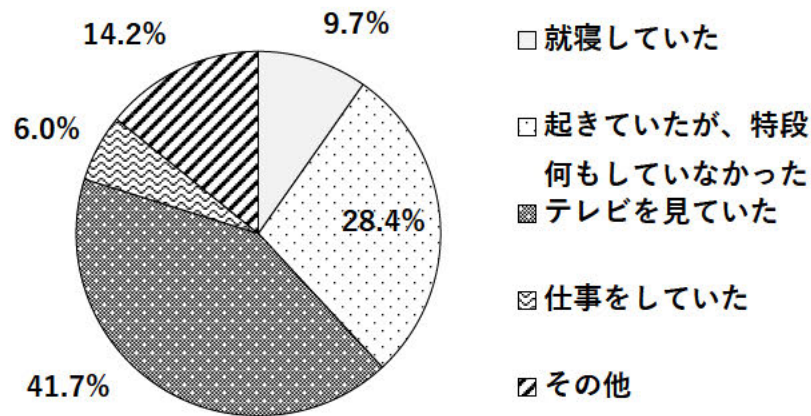
2 ミサイル発射情報が伝達された時の状況を教えてください。

(1) どちらにいらっしゃいましたか？[問2]



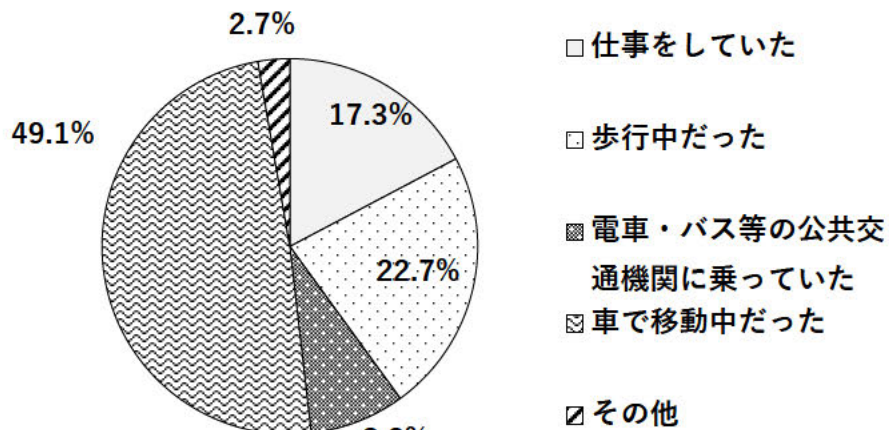
有効回答数=1459

(2) (屋内・地下にいた方) そのとき、何をしていましたか？



有効回答数 =1354

(3) (屋外にいた方) そのとき、何をしていましたか？

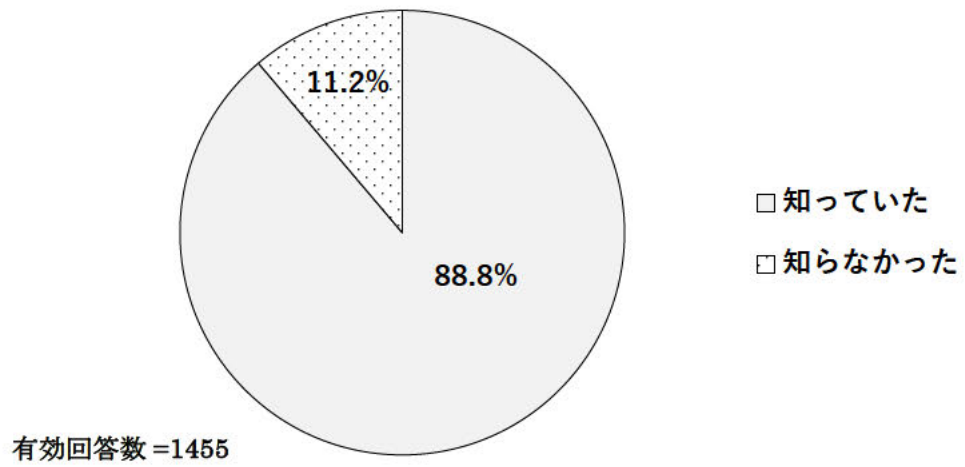


有効回答数 =110

ミサイル発射情報伝達時にいた場所については、「屋内」と回答した方が最も多く 90%台前半であった。

3 ミサイル発射情報について

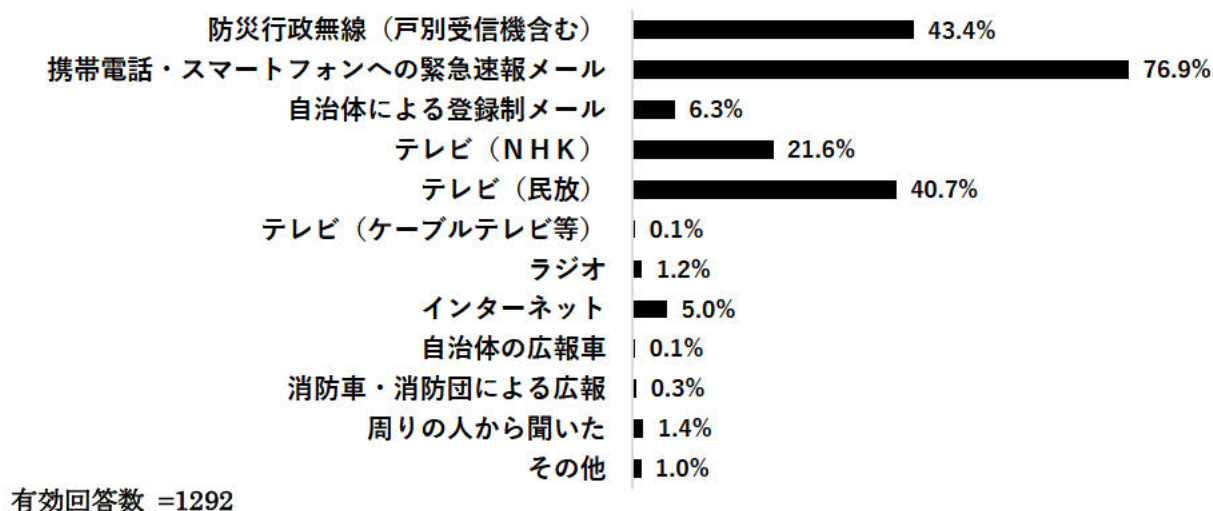
北朝鮮からのミサイル発射情報が伝達されましたが、その後、ミサイル通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知っていましたか？[問3]



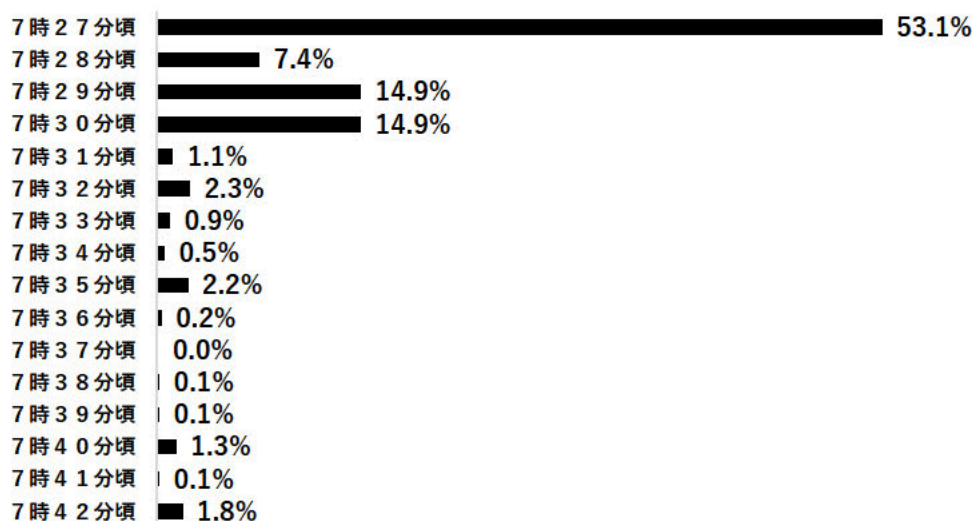
ミサイル発射情報については、当該発射情報が伝達されてから通過情報が伝達されるまでの間に、ミサイルが発射されたことを「知っていた」と回答した方が80%台後半であった。

4 どのような手段で、いつ、ミサイル発射について知りましたか？ [問4]

(1) どのような手段で知りましたか？ (複数回答)



(2) いつ知りましたか？

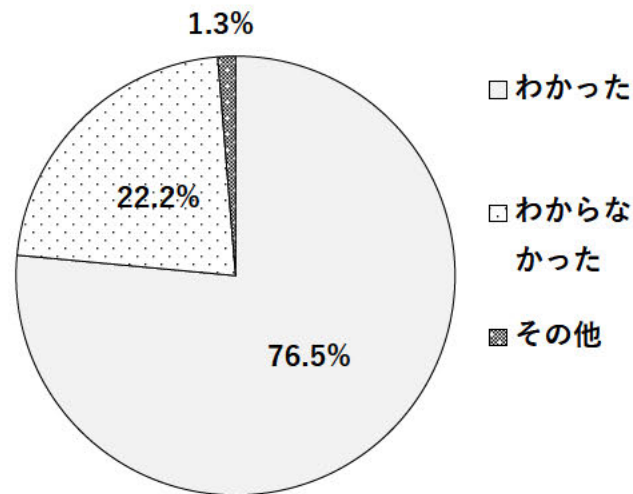


ミサイルの発射を知った手段については、「携帯電話・スマートフォンへの緊急速報メール」と回答した方が最も多く70%台後半であった。次いで、「防災行政無線 (戸別受信機含む)」と回答した方が、40%台前半であった。

知った時間については、発射情報から約3分以内と回答した方が約90%であった。

5 伝達された発射情報のメッセージについて

メッセージを聞いて、何をしたらよいかわかりましたか？[問5]



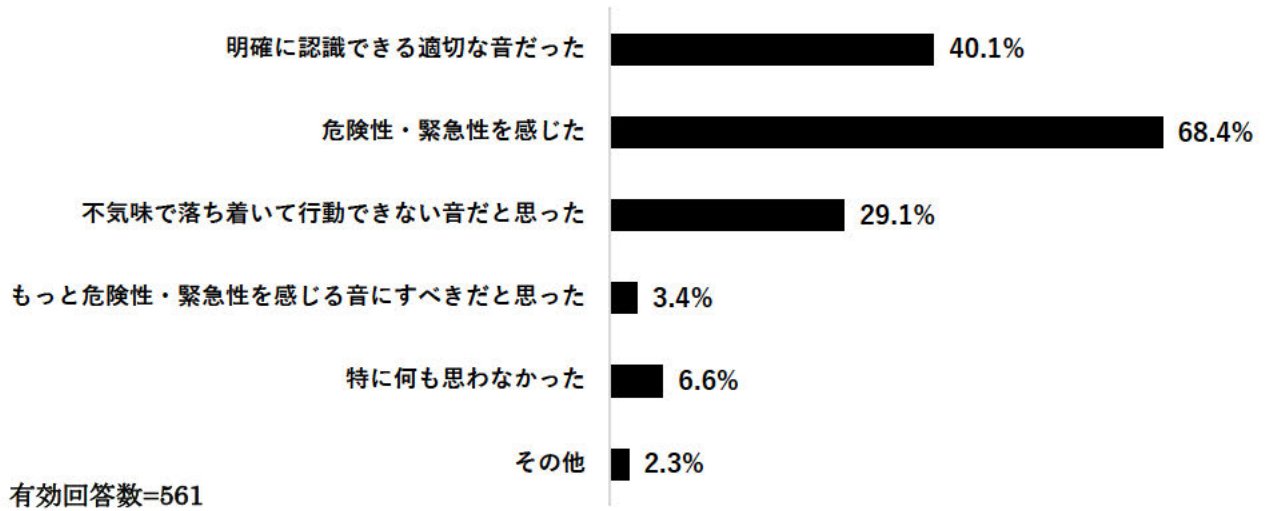
有効回答数 =1157

「わかった」と回答した方が70%台後半であった。一方、「わからなかった」と回答した方は20%台前半であった。

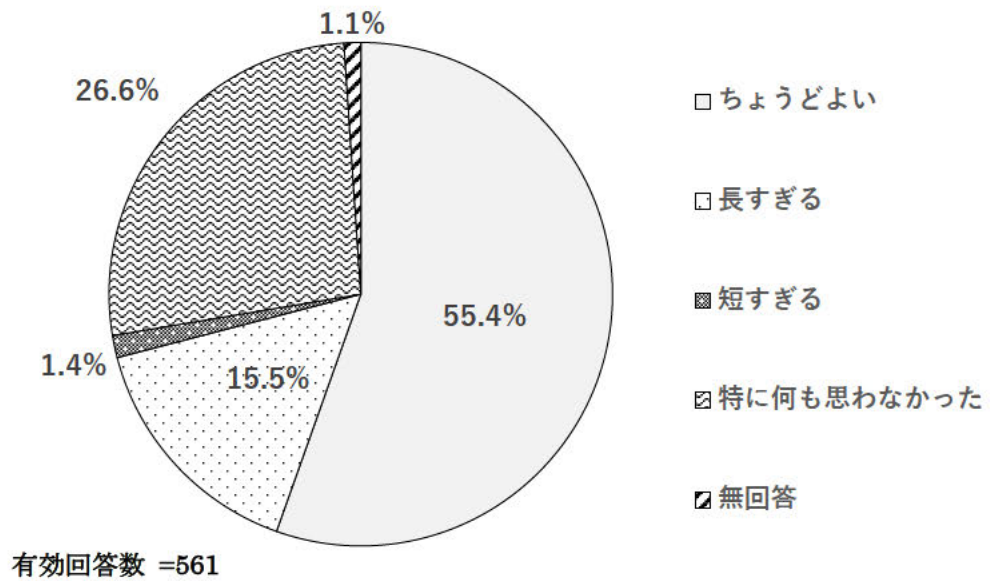
6 防災行政無線について

防災行政無線を聞かれた方に伺います。[問6]

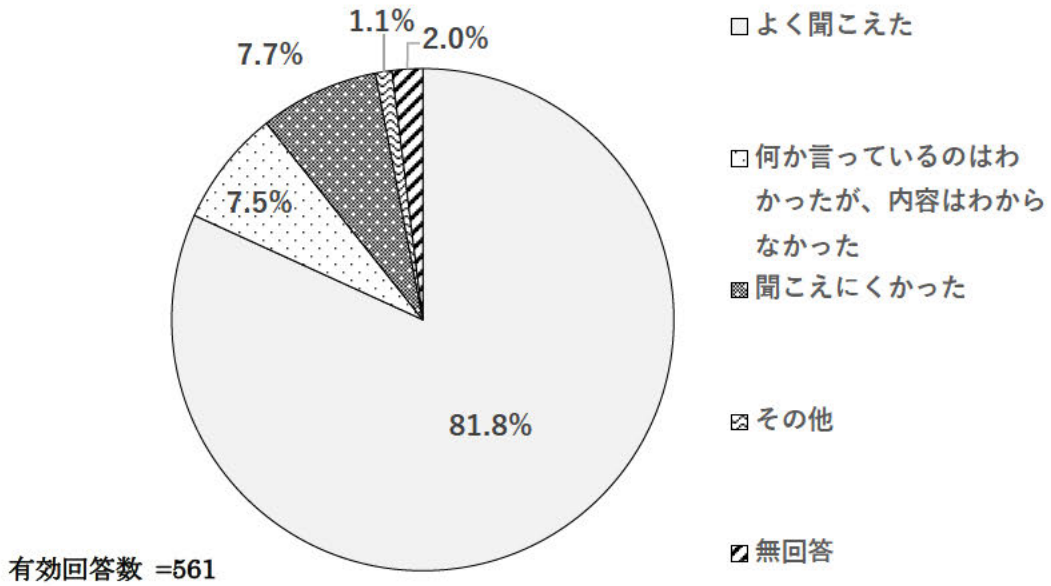
(1) サイレン音の音色について、どう思いましたか？（複数回答）



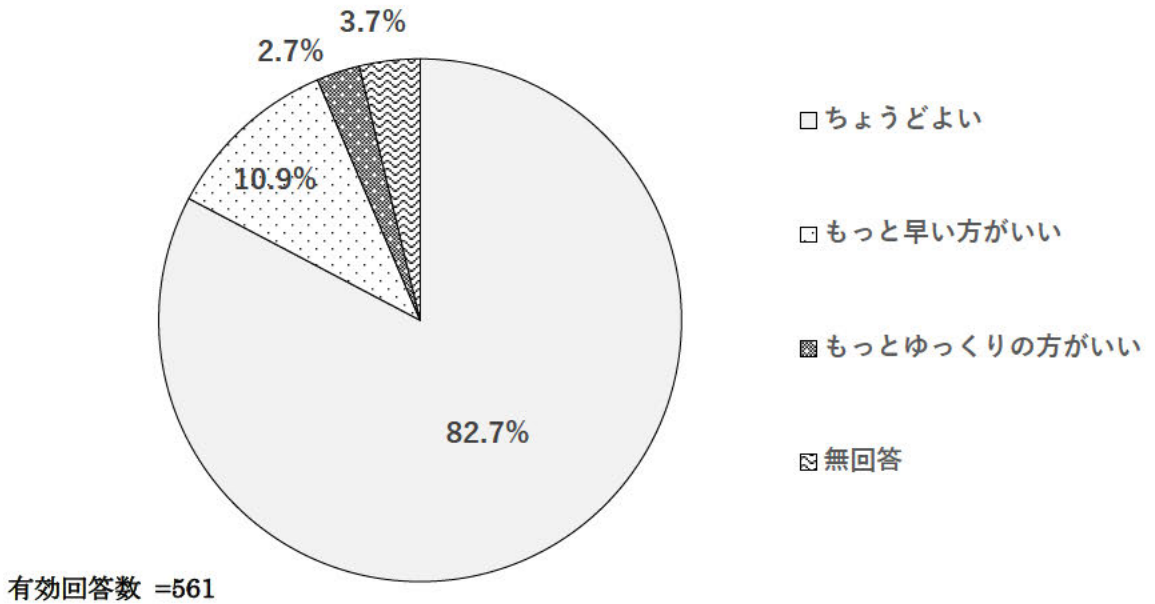
(2) サイレン音の流れる長さについて、どう思いましたか？



(3) 音声は聞き取れましたか？



(4) 音声の速度はどうでしたか？



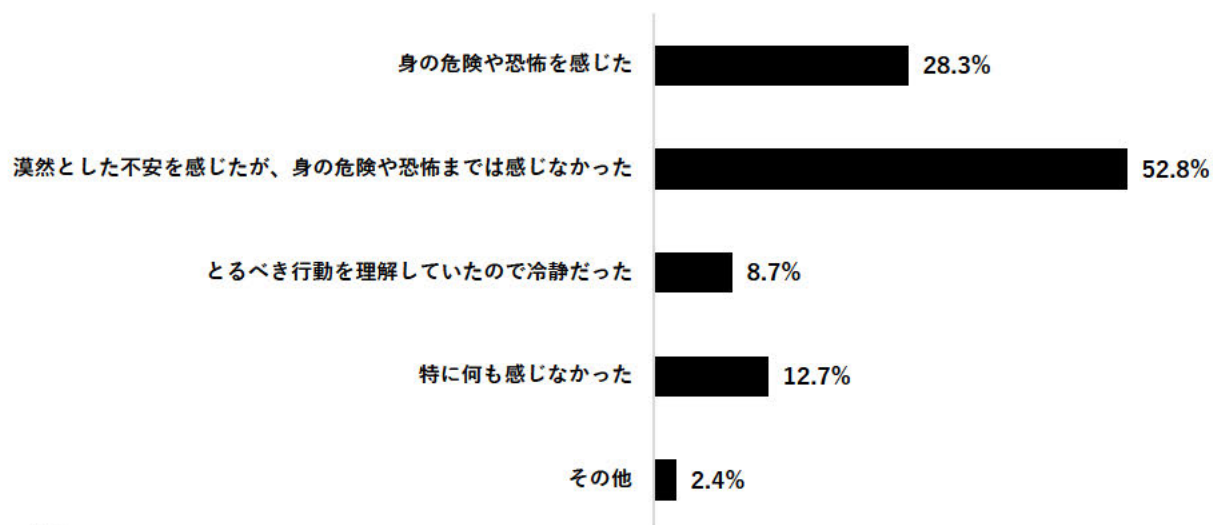
防災行政無線のサイレン音については、「危険性・緊急性を感じた」と回答した方が最も多く、60%台後半であった。次いで、「明確に認識できる適切な音だった」と回答した方が約40%であった。

また、「不気味で落ち着いて行動できない音だった」と回答した方が20%台後半であった。

音声については、「よく聞こえた」と回答した方が、80%台前半であり、速度についても、「ちょうどよい」と回答した方が、80%台前半であった。

7 ミサイル発射を知った際にどう思いましたか？[問7]

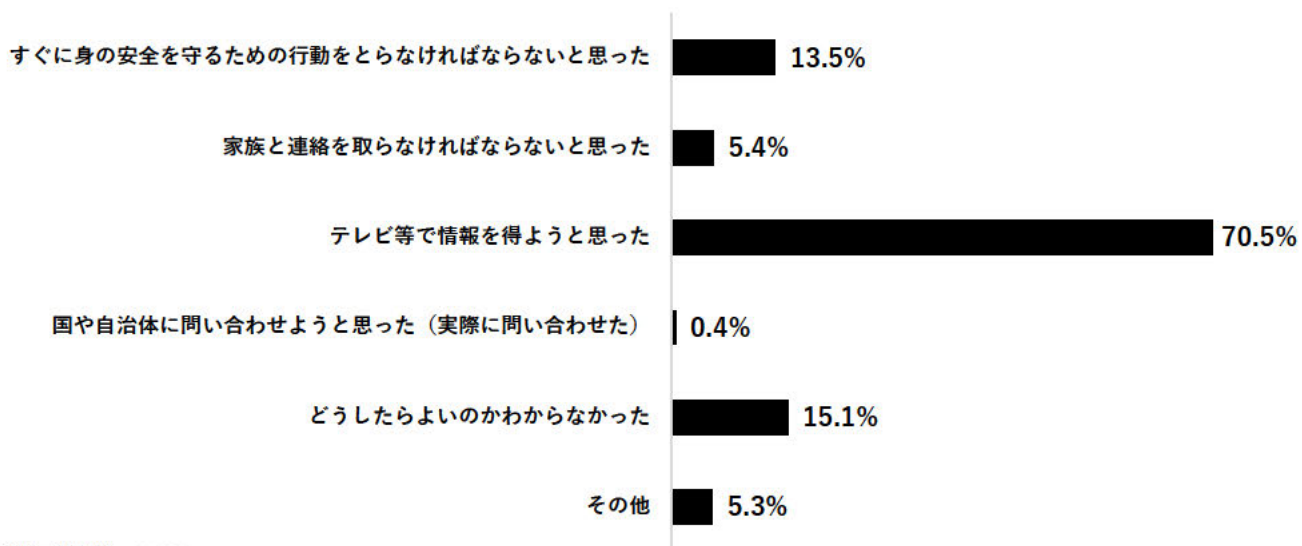
(1) 第一印象について（複数回答）



有効回答数 =1292

ミサイル発射を知った第一印象については、「漠然とした不安を感じたが、身の危険や恐怖までは感じなかった」と回答した方が50%台前半と最も多かった。次いで、「身の危険や恐怖を感じた」と回答した方が、20%台後半であった。

(2) その後について（複数回答）

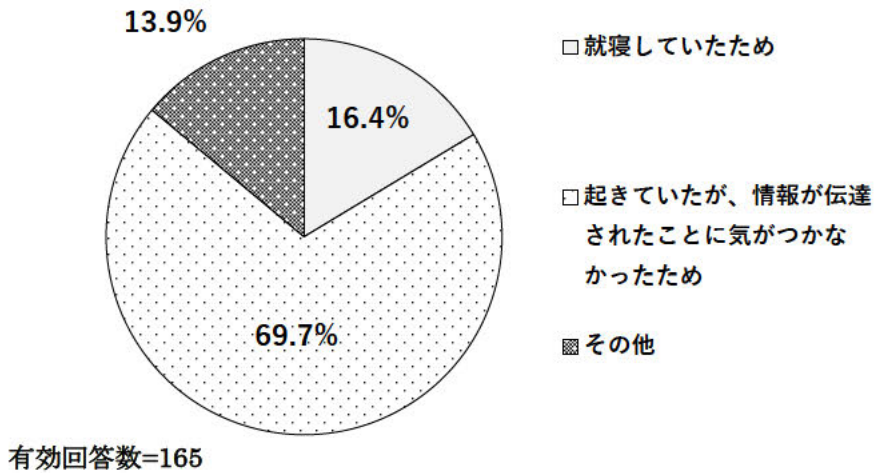


有効回答数=1292

ミサイルの発射を知った後の行動については、「テレビ等で情報を得ようと思った」と回答した方が最も多く70%台前半であった。また、「どうしたらよいかわからなかった」と回答した方は10%台半ばであった。

8 ミサイル発射情報の伝達から、通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知らなかった方について

なぜミサイルが発射されたことを知らなかったのですか？[問8]

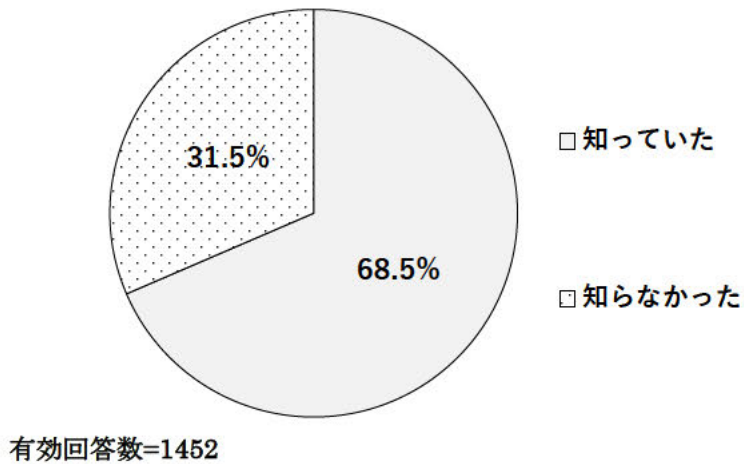


ミサイルが発射されたことを知らなかった理由については、「起きていたが、情報が伝達されたことに気がつかなかった」と回答した方が約70%であった。

また、「就寝していた」と回答した方は10%台半ばであった。

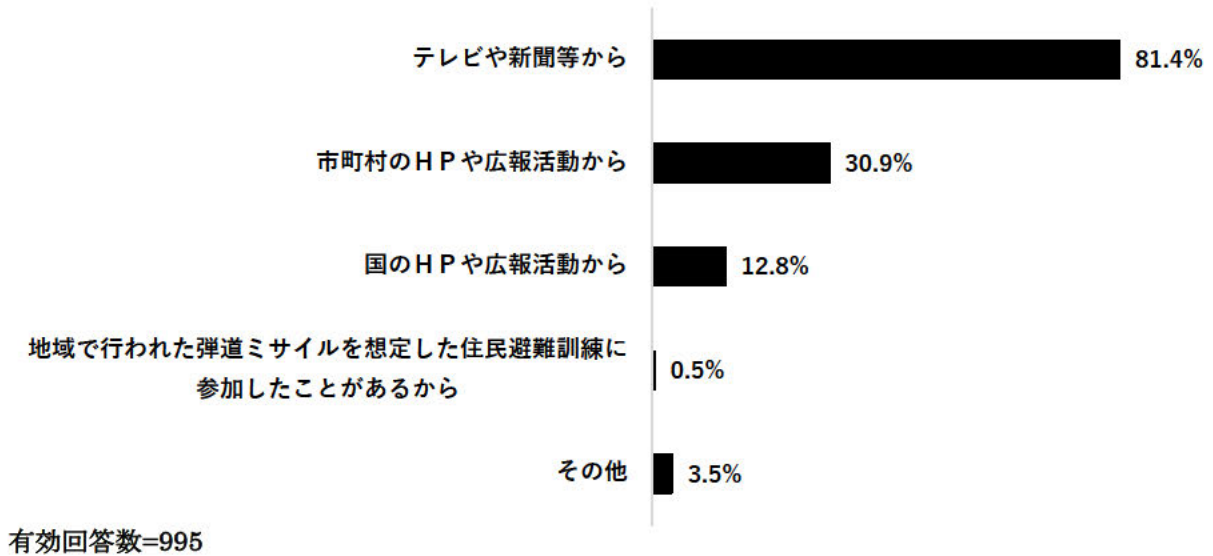
9 ミサイル発射情報の伝達を受けての避難等について

弾道ミサイル落下に備えてとるべき身の安全を守るための行動をご存じでしたか？[問9]



身の安全を守るためにとるべき行動については、「知っていた」と回答した方が60%台後半であった。

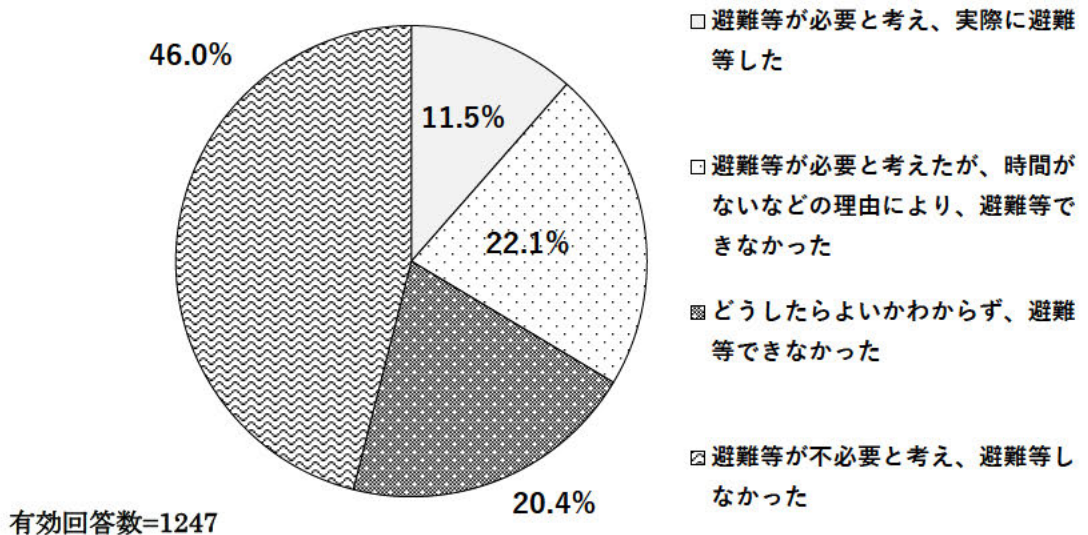
10 とるべき身の安全を守るための行動を知っていた方について
なぜご存じでしたか？（複数回答）[問10]



身の安全を守るためにとるべき行動については、「テレビや新聞等から」知ったと回答した方が最も多く80%台前半であった。次いで「市町村のHPや広報活動から」と回答した方が30%台前半であった。

11 ミサイル発射を知った後の行動について

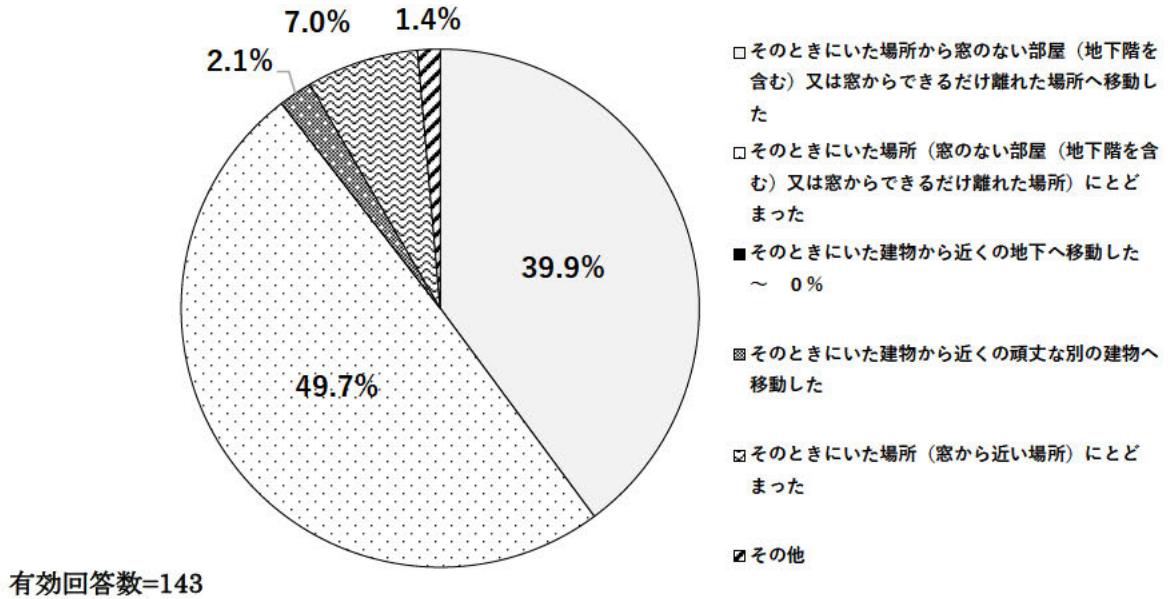
避難等（その時にいた窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所にとどまることも含む）をしましたか？[問11]



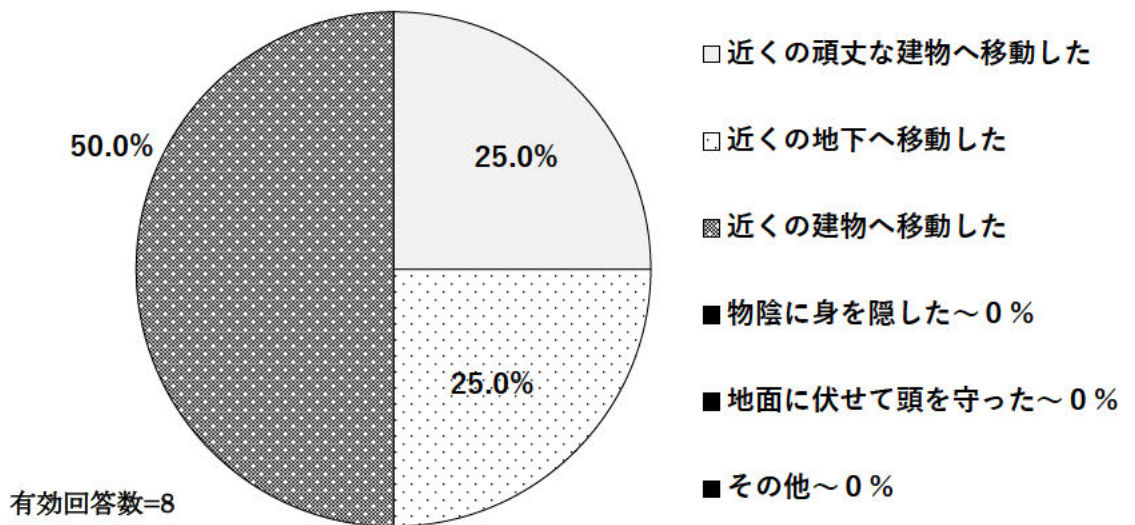
ミサイル発射を知った後の行動については、「避難等が必要と考え、実際に避難等した」と回答した方が10%台前半であった。「避難等是不必要と考え、避難等しなかった」と回答した方は40%台半ばであった。一方、「どうしたらよいかかわからず、避難等できなかった」と回答した方は約20%であった。

12 どのように避難等しましたか？[問12]

(1) 屋内・地下にいた方



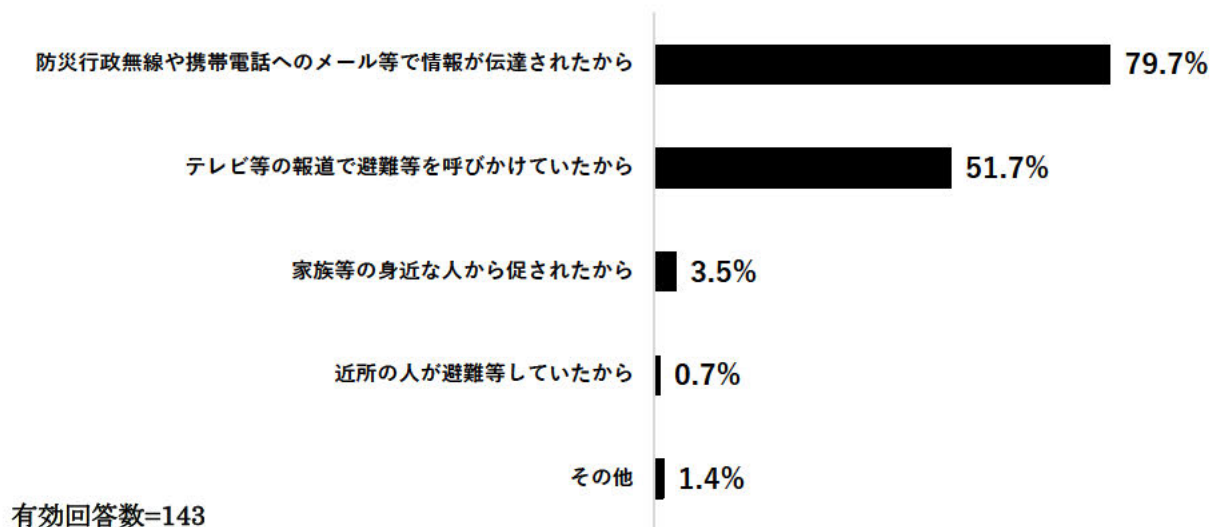
(2) 屋外にいた方



屋内・地下にいた方の避難行動については、「そのときにいた場所から窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した」及び「そのときにいた場所（窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所）にとどまった」と回答した方が約90%であった。

1.3 避難等したきっかけについて

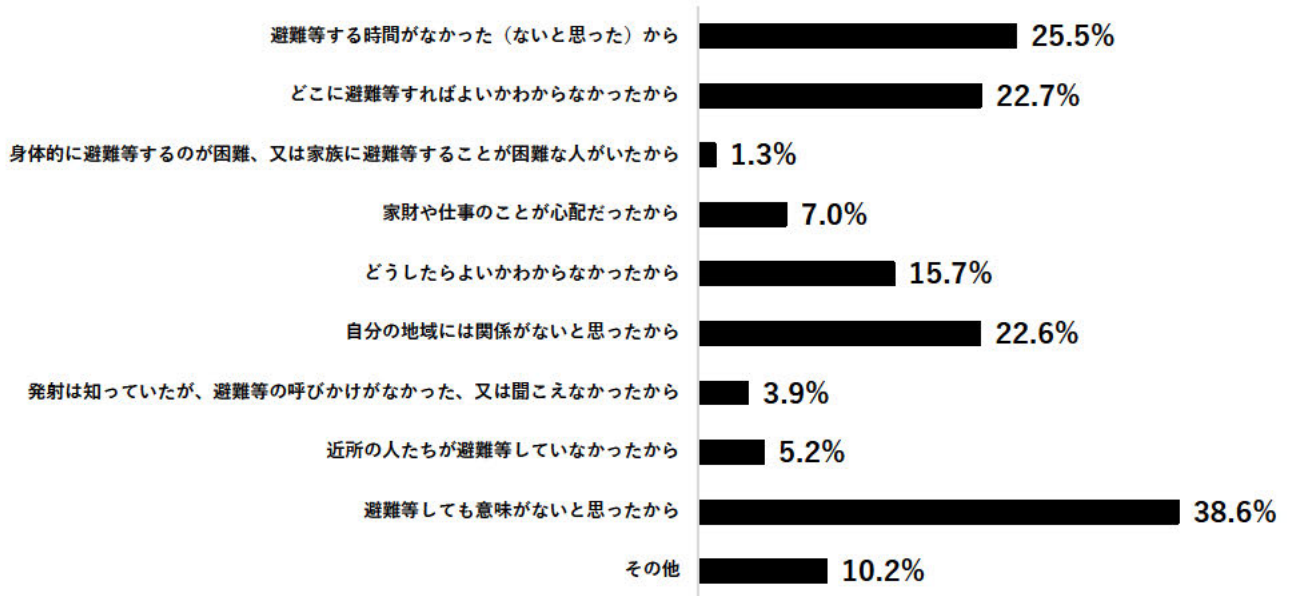
避難等したきっかけは何でしたか？（複数回答）[問 13]



避難等したきっかけについては、「防災行政無線や携帯電話へのメール等で情報が伝達されたから」と回答した方が最も多く約 80%であった。次いで「テレビ等の報道で避難等呼びかけていたから」と回答した方が 50%台前半であった。

1.4 避難行動をとらなかったことについて

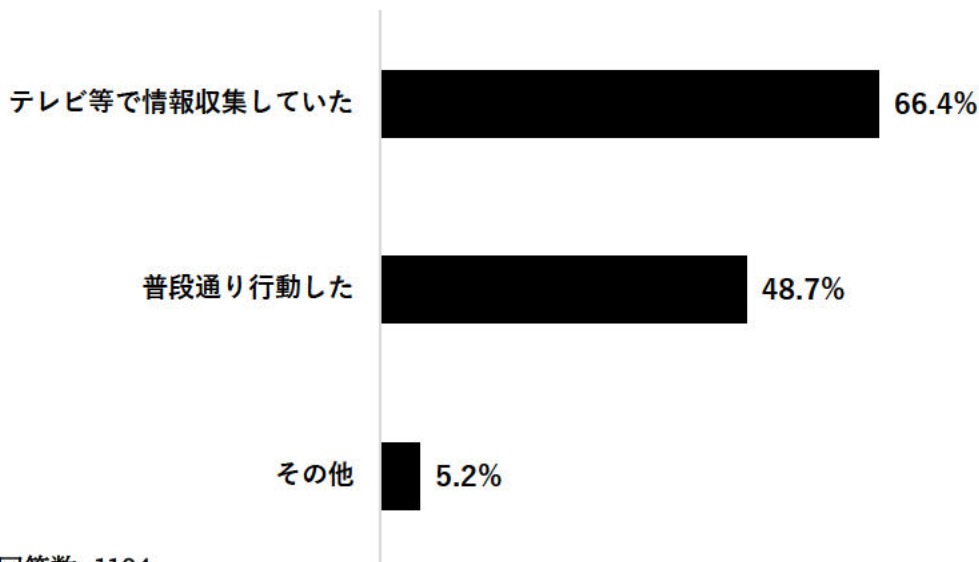
(1) なぜ避難できなかった(しなかった)のですか？(複数回答) [問 14]



有効回答数 =1104

避難行動をとらなかった理由については、「避難等しても意味がないと思ったから」が最も多く 30%台後半であった。次いで、「避難等する時間がなかった(ないと思った)から」と回答した方が 20%台半ばであった。

(2) 避難等をせずに何をしていましたか？(複数回答) [問 15]



有効回答数=1104

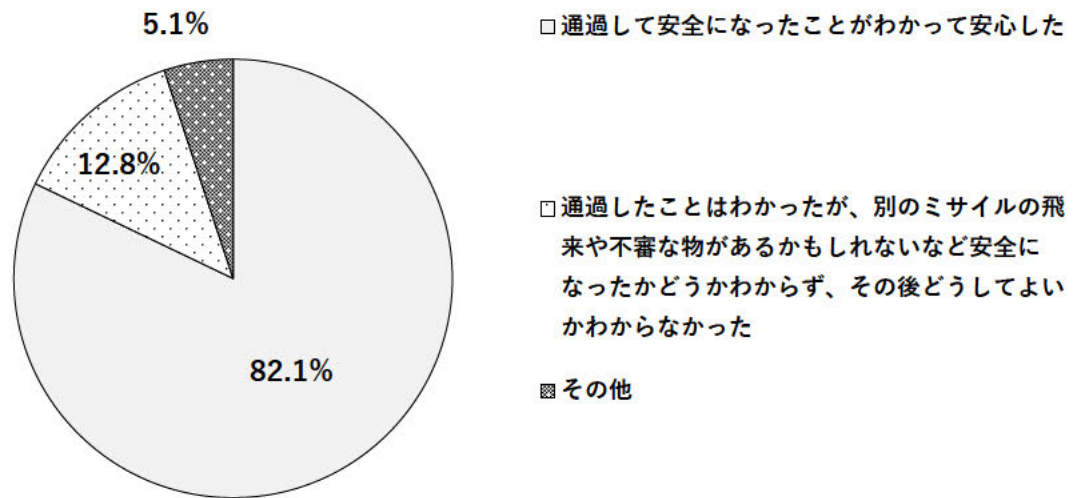
避難をせずに行動していた行動については、「テレビ等で情報収集していた」と回答した方が最も多く 60%台半ばであった。また、「普段通り行動した」と回答した方が 40%台後半であった。

15 ミサイル通過情報の伝達について

伝達された通過情報のメッセージについてどのように受け止めましたか？[問 16]

<10月4日に伝達された通過情報のメッセージ>

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、07時29分頃、太平洋へ通過したものとみられます。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」



有効回答数 =1258

ミサイル通過情報については、通過情報を聞いて「通過して安全になったことがわかって安心した」と回答した方が80%台前半であった。

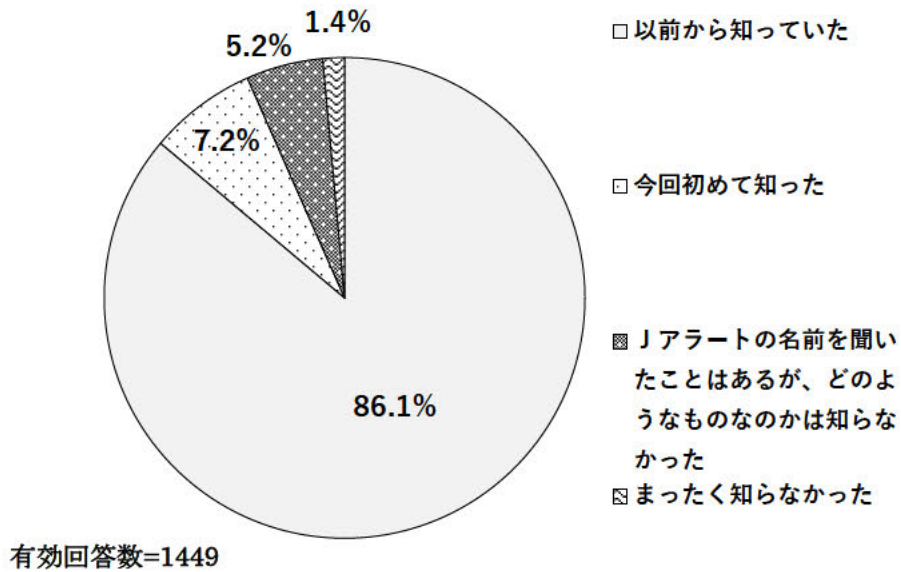
また、「通過したことはわかったが、別のミサイルの飛来や不審な物があるかもしれないなど安全になったかどうかかわからず、その後どうしてよいかわからなかった」と回答した方は10%台前半であった。

16 Jアラートについて

(1) ミサイルが発射されると、Jアラートにより情報が伝達されることをご存じでしたか？[問 17]

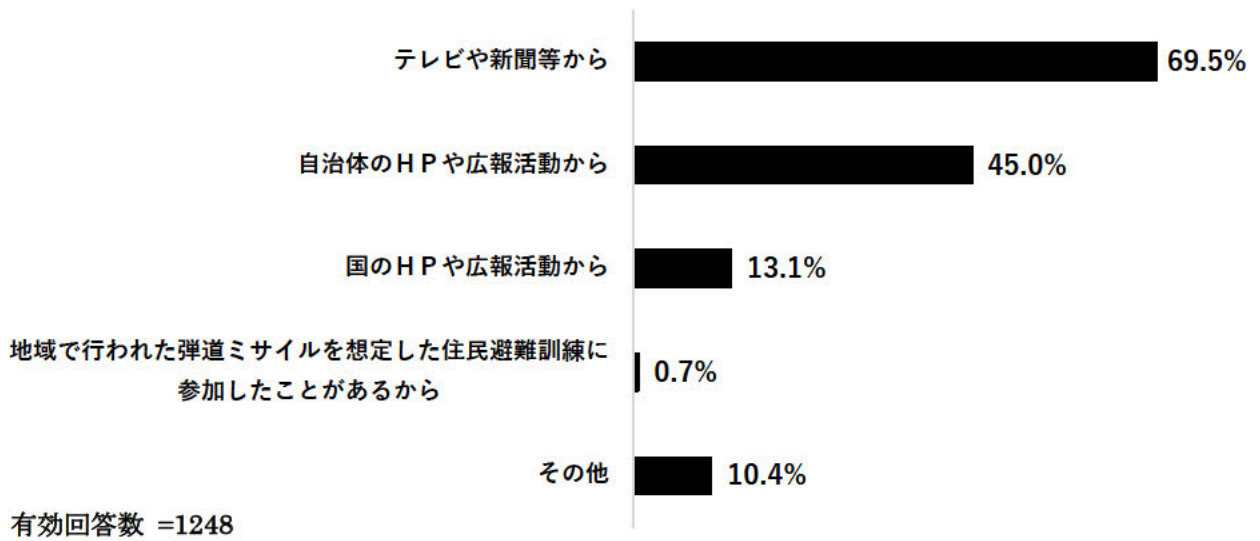
<Jアラート（全国瞬時警報システム）とは？>

弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星及び地上回線を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村防災行政無線等を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム。



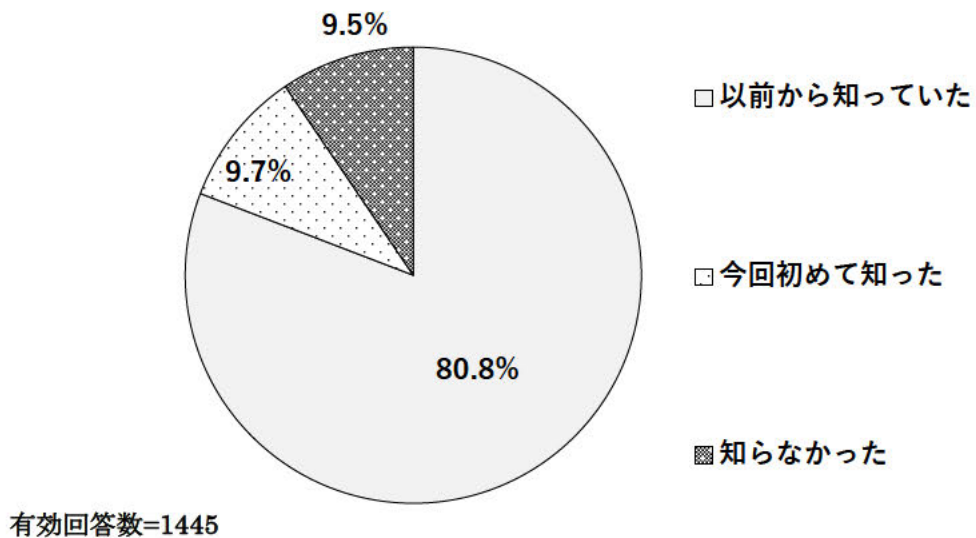
Jアラートについては、「以前から知っていた」と回答した方が80%台半ばであった。

(2) (以前から知っていた方) なぜご存じでしたか? (複数回答) [問 18]



Jアラートを知っていた理由については、「テレビや新聞等から」と回答した方が最も多く約70%であった。次いで、「自治体のHPや広報活動から」と回答した方が40%台半ばであった。

(3) お住まいの地域でJアラートによる情報伝達がどのような手段（防災行政無線屋外スピーカー、自治体による登録制メール等）で行われるか、ご存じでしたか? [問 19]

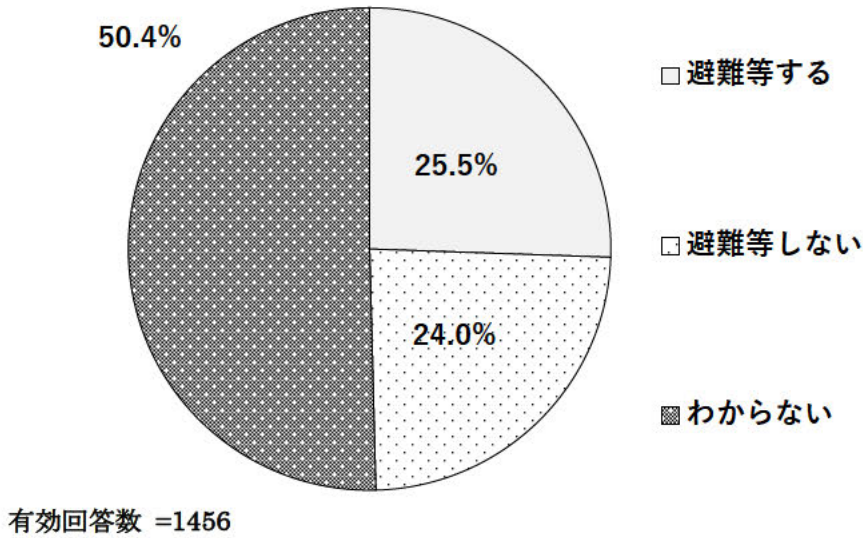


Jアラートによる情報の伝達手段については、「以前から知っていた」と回答した方が80%台前半であった。

一方、「知らなかった」と回答した方が約10%であった。

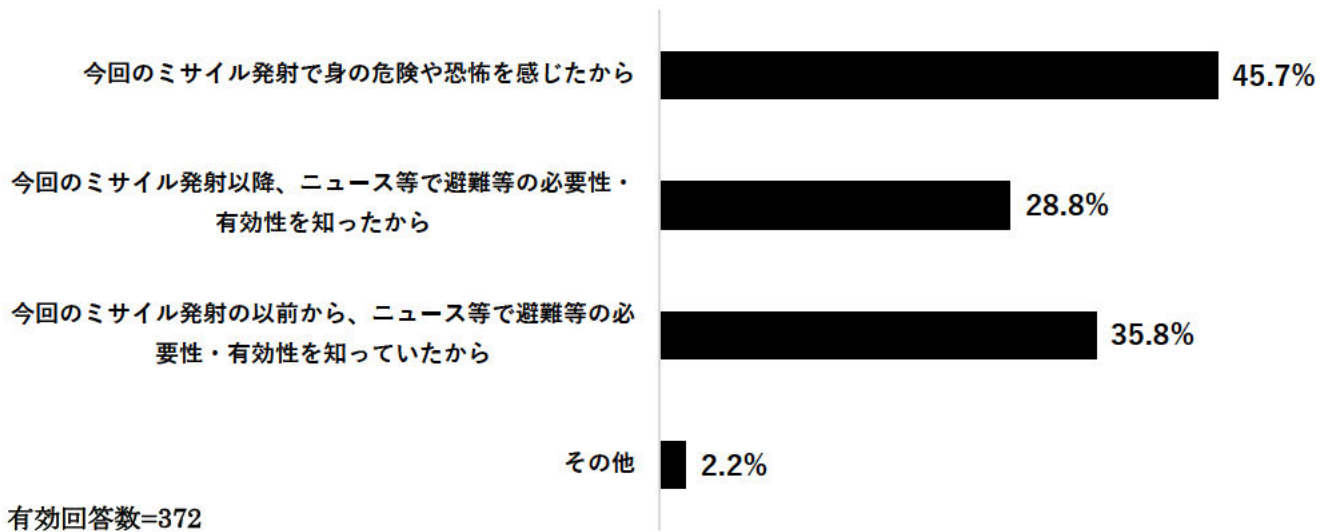
1.7 今後について

(1) 今後再びミサイル発射情報が伝達された際には避難等しますか？ [問 20]



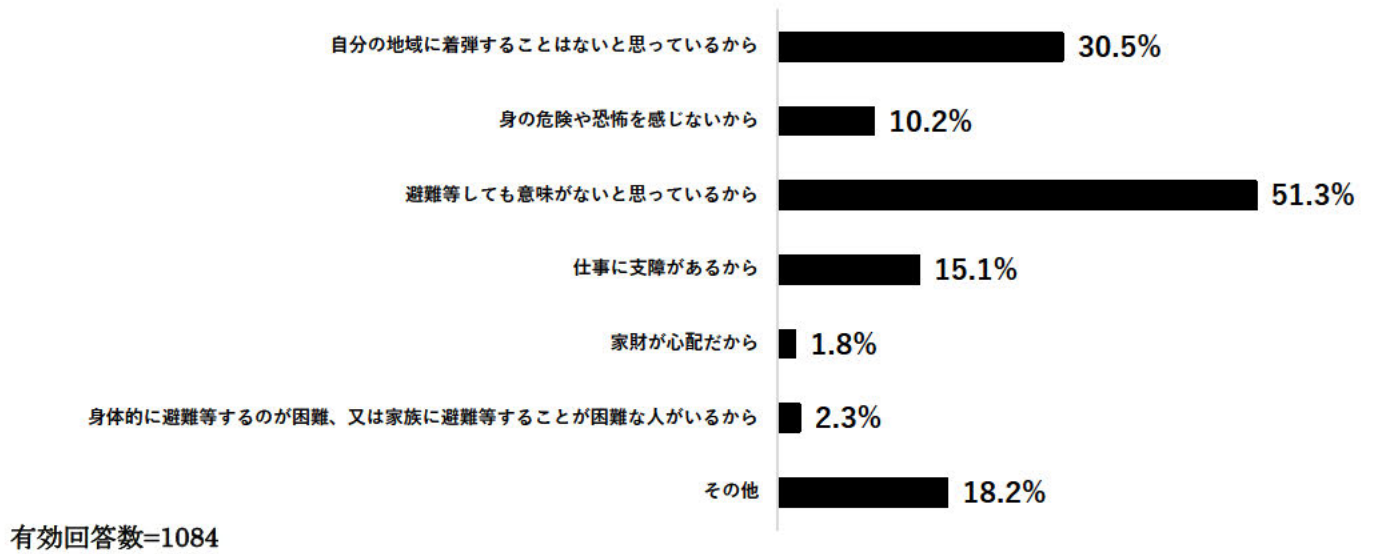
今後ミサイル発射情報が伝達された際の避難等について、「避難等する」、「避難等しない」と回答した方がそれぞれ 20% 台半ばであり、また、「わからない」と回答した方が約 50% であった。

(2) (避難等すると回答した方) 避難しようと思われるのはなぜですか？ (複数回答) [問 21]



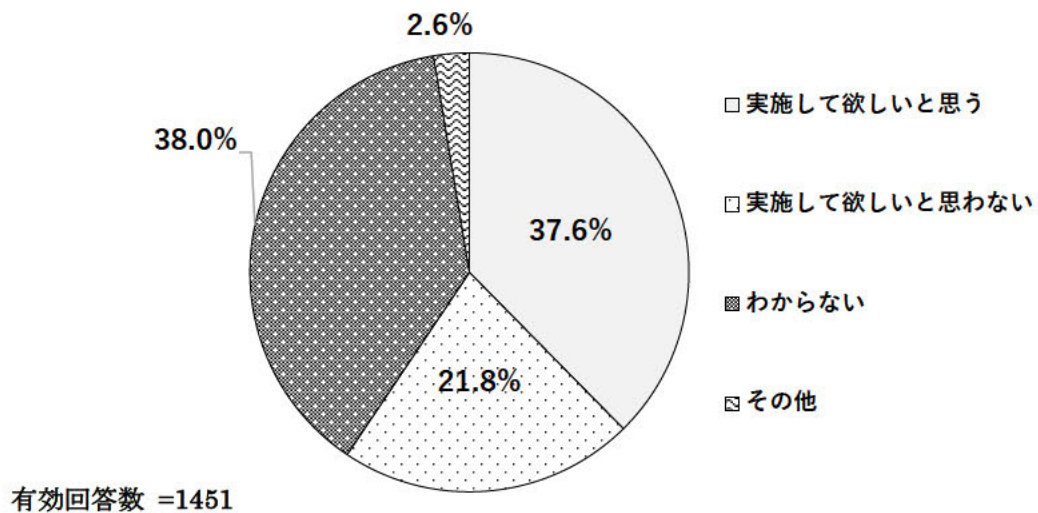
避難しようと思う理由については、「今回のミサイル発射で身の危険や恐怖を感じたから」と回答した方が最も多く 40% 台半ばであった。次いで「今回のミサイル発射の以前から、ニュース等で避難等の必要性・有効性を知っていたから」と回答した方が 30% 台半ばであった。

(3) (避難等しない、わからないと回答した方) 避難しようと思わないのはなぜですか？ (複数回答) [問 22]



避難しようと思わない理由については、「避難等しても意味がないと思っているから」と回答した方が最も多く 50%台前半であった。次いで「自分の地域に着弾することはないと思っているから」と回答した方が 30%台前半であった。

(4) 今後、自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練を実施して欲しいと思いますか？ [問 23]



自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練については、「実施して欲しいと思う」と回答した方が 30%台後半であった。また、「実施して欲しいと思わない」と回答した方は 20%台前半であった。

北朝鮮によるミサイル発射事案に関する住民の意識・行動等についての調査

(インターネット調査)

調査結果

令和4年12月

【調査概要】

令和4年10月4日の北朝鮮による我が国の上空を通過する弾道ミサイルの発射に際しては、全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用して、国民の皆様へ情報提供したところです。今回、今後の国民保護施策の参考とさせていただくため、Jアラートにより弾道ミサイルに関する情報伝達が行われた地域（北海道及び青森県）に居住されている住民の方々を対象に、当日の意識・行動等についてアンケート調査を実施しました。

●調査方法

民間調査会社に委託し、Jアラートにより情報伝達が行われた以下の2道県に住所を登録しているモニターから任意に抽出した方にアンケート調査にご協力をいただき、回答いただきました。

Jアラート送信地域：北海道、青森県

●調査実施時期及び回答状況

○調査実施時期

11月9日～11月11日

○回答状況

2道県 4,000人

<令和4年10月4日の事案の概要について>

7：22頃 北朝鮮が弾道ミサイルを発射。

7：27頃 北海道及び東京都島しょ部に対し、7：29頃、青森県及び東京都島しょ部に対し、それぞれ発射情報がJアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。

「ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難してください。」

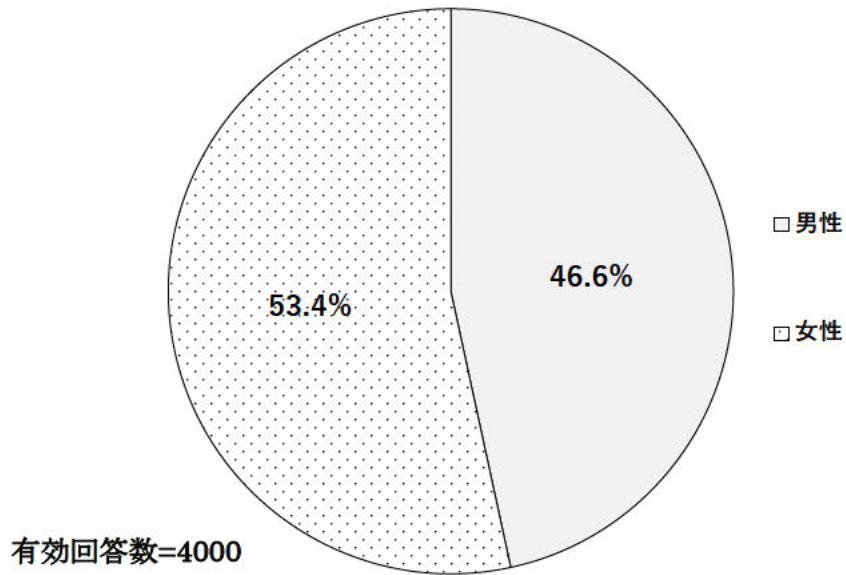
7：42頃 通過情報がJアラートで伝達され、防災行政無線、メール等で以下の情報が伝達される。

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、07時29分頃、太平洋へ通過したものとみられます。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。」

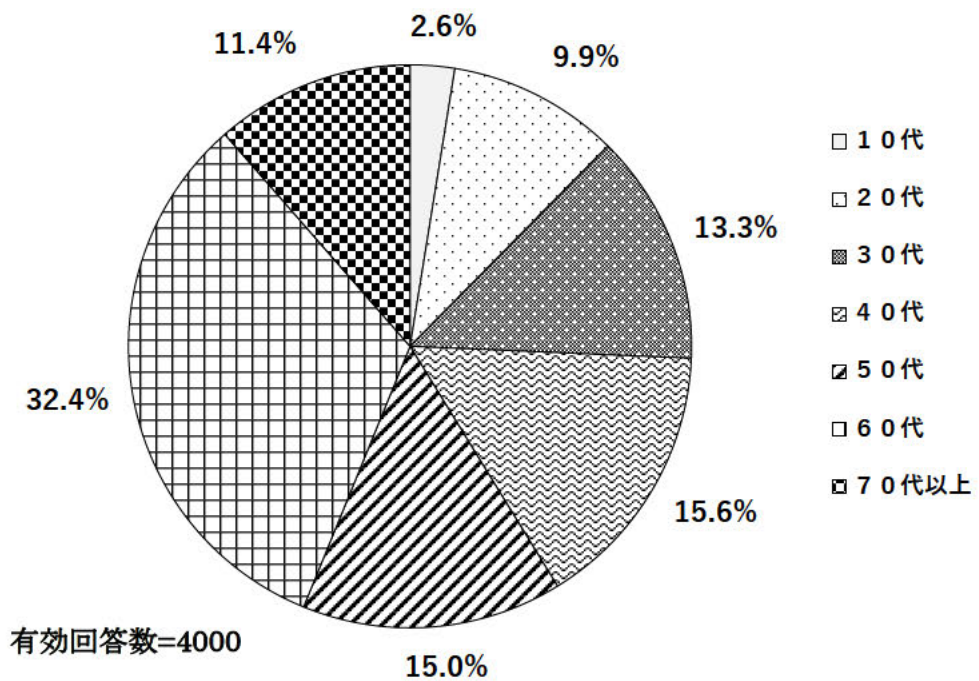
【調査結果】

1 アンケート回答者について[問1]

性別

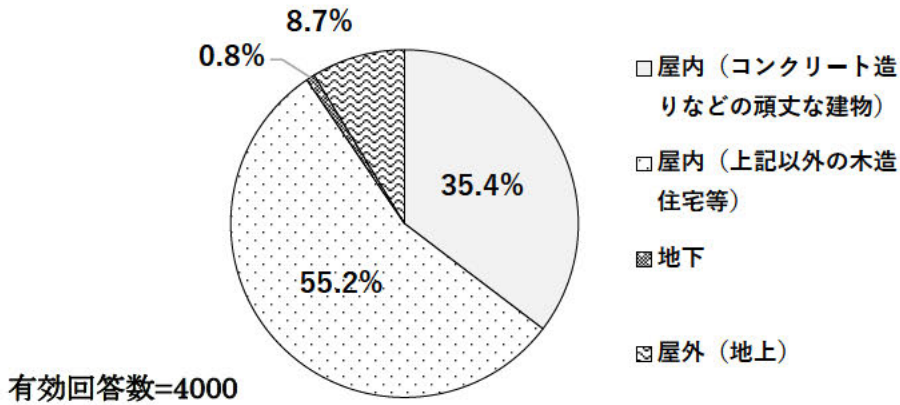


年齢

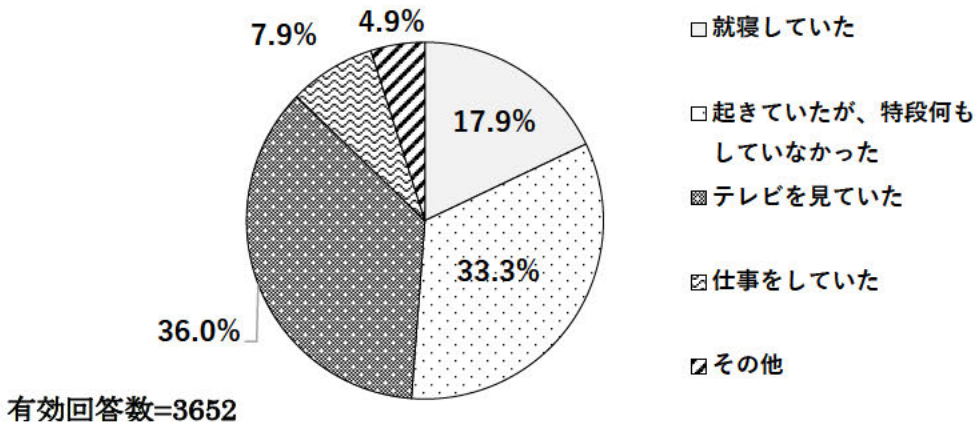


2 ミサイル発射情報が伝達された時の状況を教えてください。

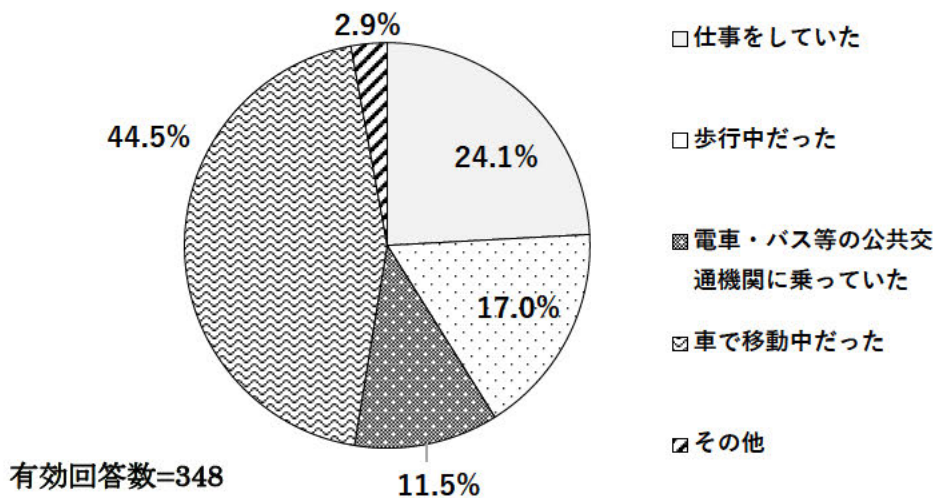
(1) どちらにいらっしゃいましたか？[問2]



(2) (屋内・地下にいた方) そのとき、何をしていましたか？



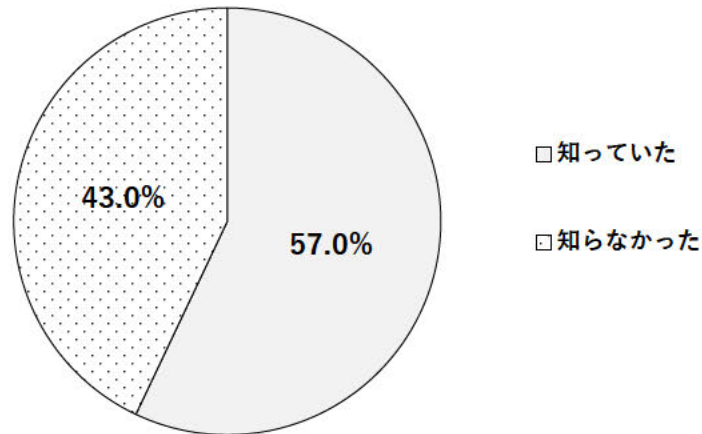
(3) (屋外にいた方) そのとき、何をしていましたか？



ミサイル発射情報伝達時にいた場所については、「屋内」と回答した方が最も多く 90%台前半であった。

3 ミサイル発射情報について

北朝鮮からのミサイル発射情報が伝達されましたが、その後、ミサイル通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知っていましたか？[問3]

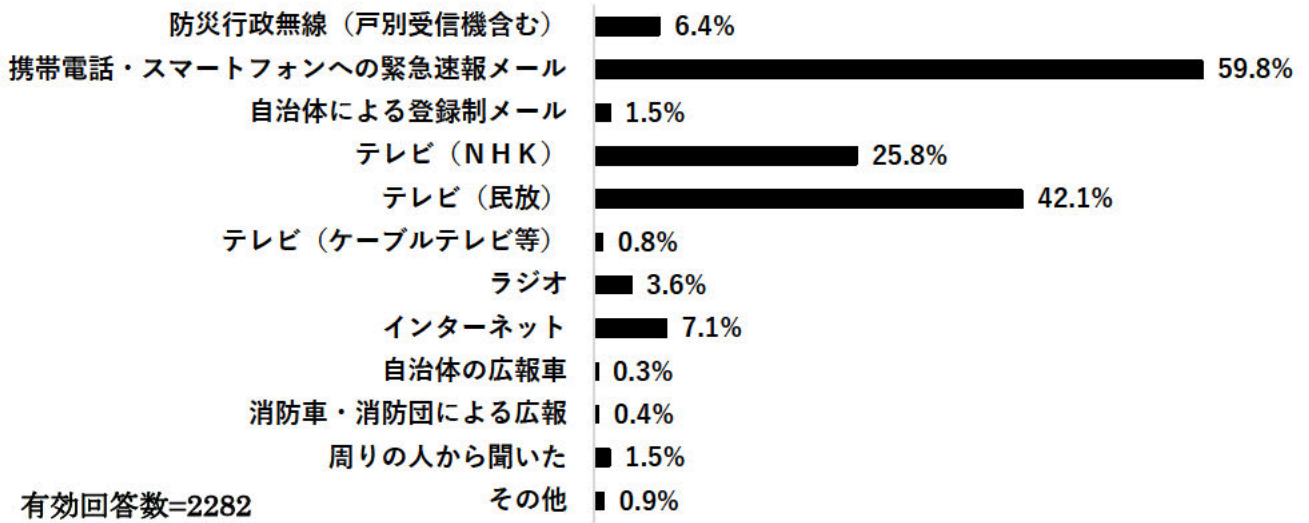


有効回答数=4000

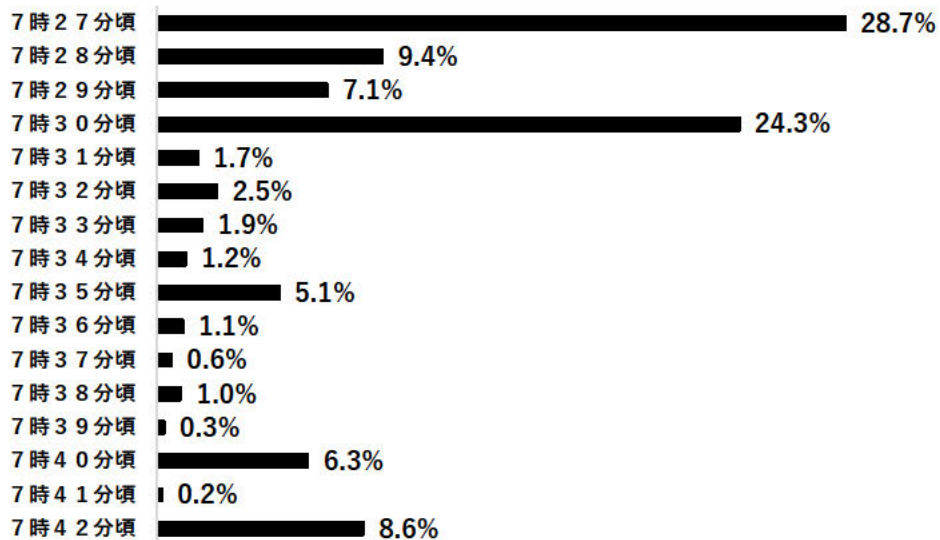
ミサイル発射情報については、当該発射情報が伝達されてから通過情報が伝達されるまでの間に、ミサイルが発射されたことを「知っていた」と回答した方が50%台後半であった。

4 どのような手段で、いつ、ミサイル発射について知りましたか？ [問4]

(1) どのような手段で知りましたか？（複数回答）



(2) いつ知りましたか？



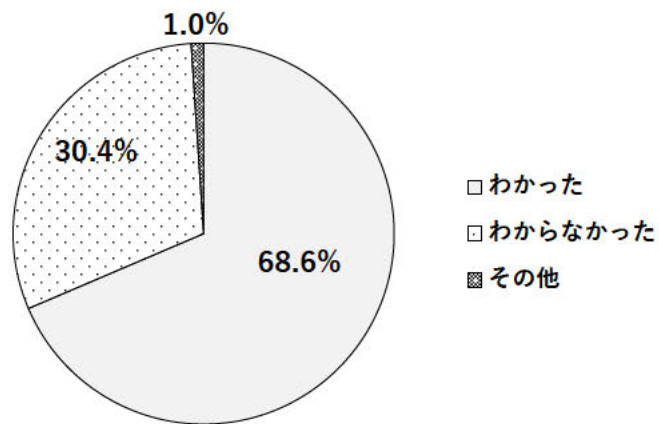
有効回答数=2282

ミサイルの発射を知った手段については、「携帯・スマートフォンへの緊急速報メール」と回答した方が最も多く約60%であった。次いで「テレビ（民放）」と回答した方が40%台前半であった。

知った時間については、発射情報から約3分以内と回答した方が約70%であった。

5 伝達された発射情報のメッセージについて

メッセージを聞いて、何をしたらよいかわかりましたか？[問5]



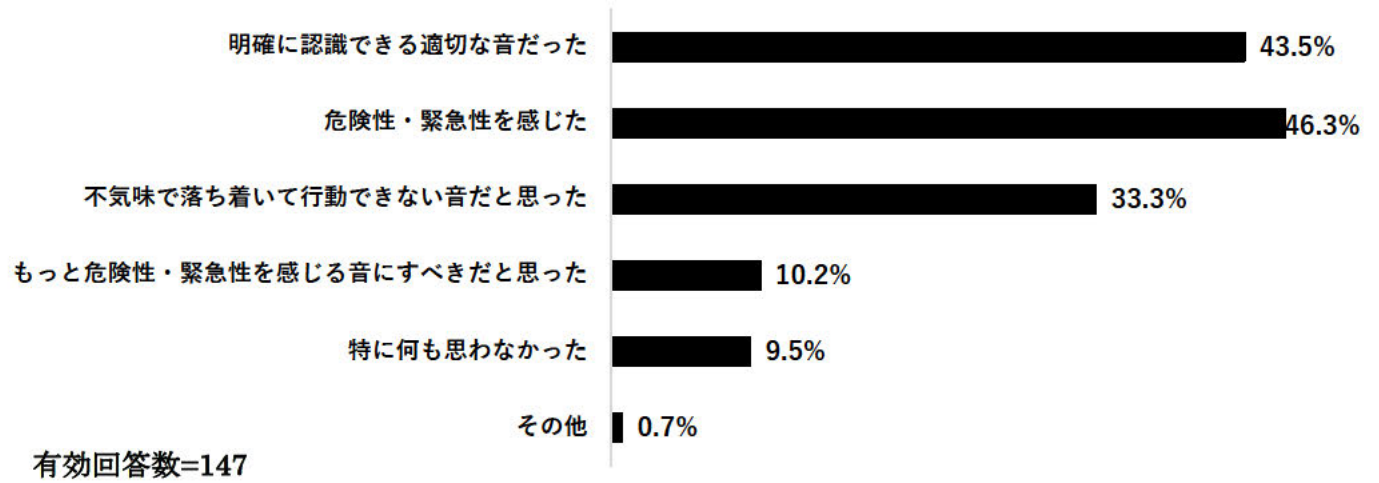
有効回答数=1432

「わかった」と回答した方が60%台後半であった。一方、「わからなかった」と回答した方は約30%であった。

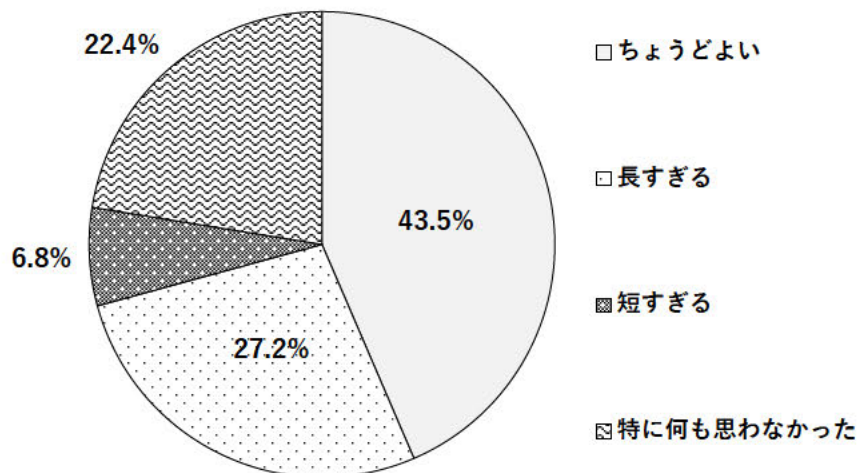
6 防災行政無線について

防災行政無線を聞かれた方に伺います。[問6]

(1) サイレン音の音色について、どう思いましたか？（複数回答）

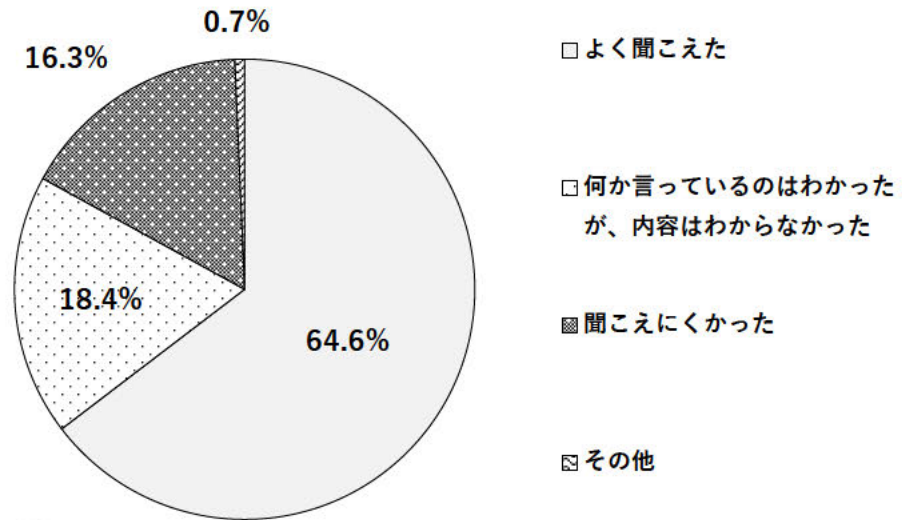


(2) サイレン音の流れる長さについて、どう思いましたか？



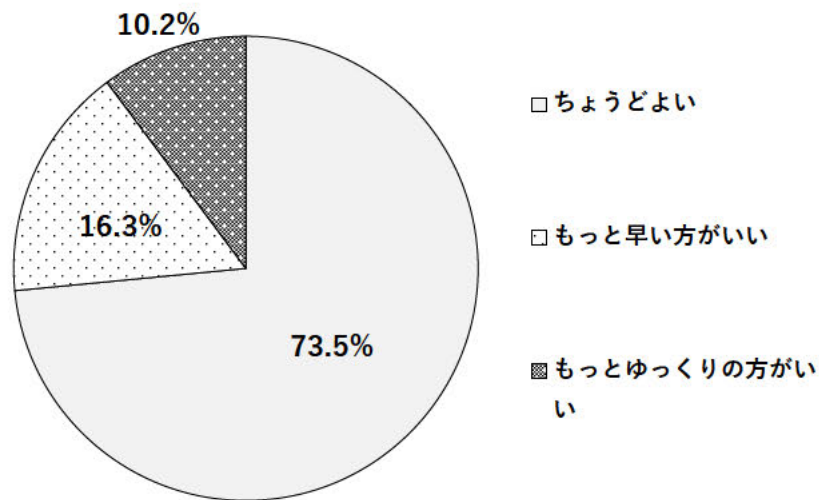
有効回答数=147

(3) 音声は聞き取れましたか？



有効回答数=147

(4) 音声の速度はどうでしたか？



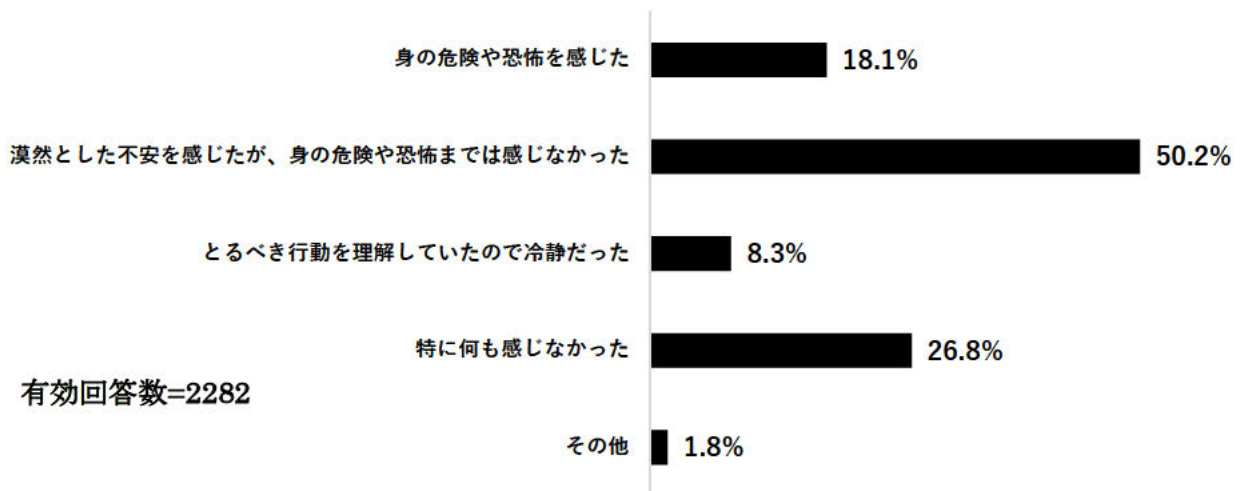
有効回答数=147

防災行政無線のサイレン音については、「危険性・緊急性を感じた」「明確に認識できる適切な音だった」と回答した方が多く、40%台半ばであった。次いで、「不気味で落ち着いて行動できない音だと思った」と回答した方が30%台前半であった。

音声については、「よく聞こえた」と回答した方が、60%台半ばであり、速度についても、「ちょうどよい」と回答した方が、70%台半ばであった。

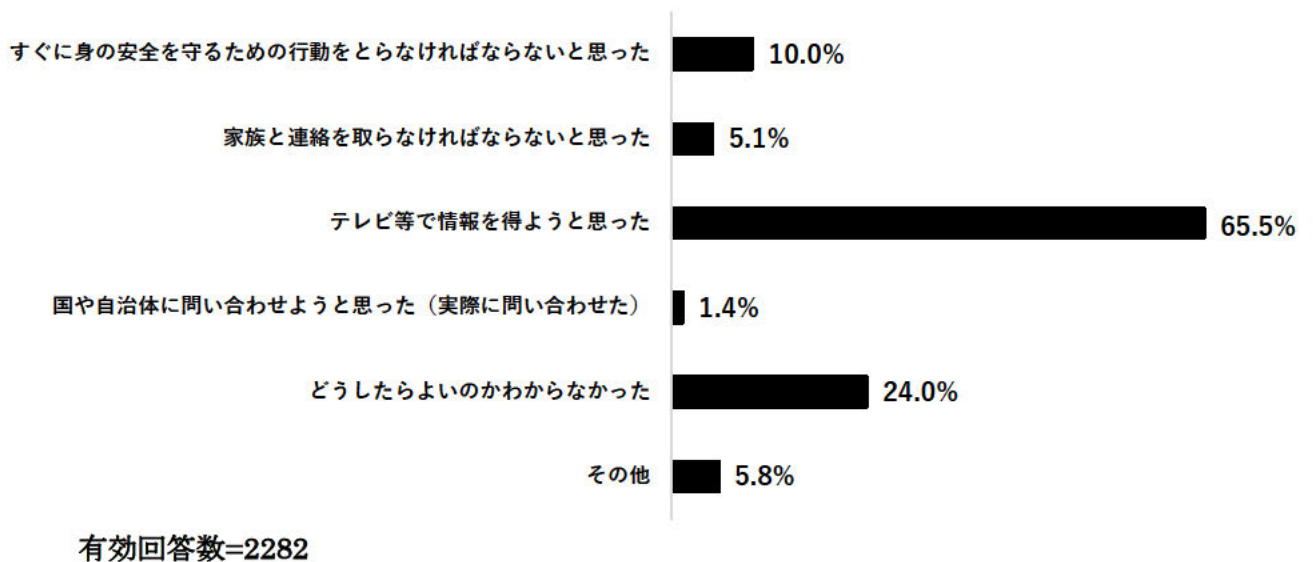
7 ミサイル発射を知った際にどう思いましたか？[問7]

(1) 第一印象について（複数回答）



ミサイル発射を知った第一印象については、「漠然とした不安を感じたが、身の危険や恐怖までは感じなかった」と回答した方が約50%と最も多かった。次いで、「特に何も感じなかった」と回答した方が、20%台後半であった。

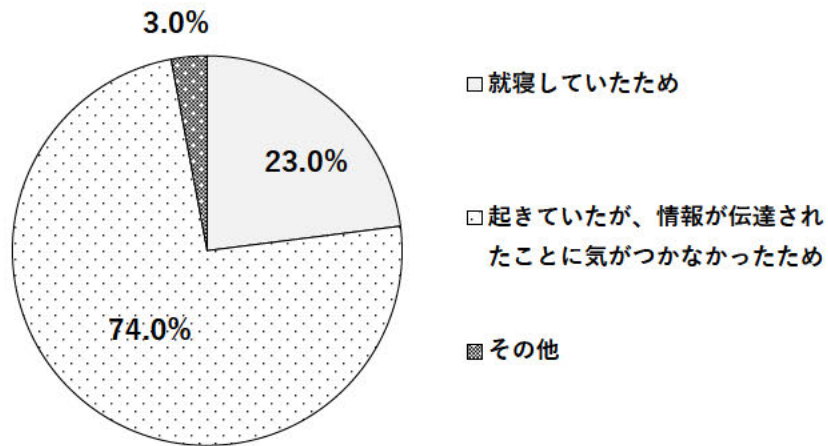
(2) その後について（複数回答）



ミサイルの発射を知った後の行動については、「テレビ等で情報を得ようと思った」と回答した方が最も多く60%台半ばであった。また、「どうしたらよいのかわからなかった」と回答した方は20%台半ばであった。

8 ミサイル発射情報の伝達から、通過情報が伝達されるまでの間に、発射されたことを知らなかった方について

なぜミサイルが発射されたことを知らなかったのですか？[問8]



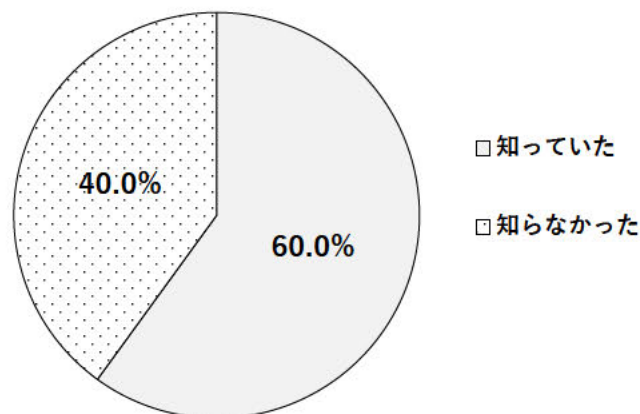
有効回答数=1718

ミサイルが発射されたことを知らなかった理由については、「起きていたが、情報が伝達されたことに気がつかなかった」と回答した方が70%台前半であった。

また、「就寝していた」と回答した方は20%台前半であった。

9 ミサイル発射情報の伝達を受けての避難等について

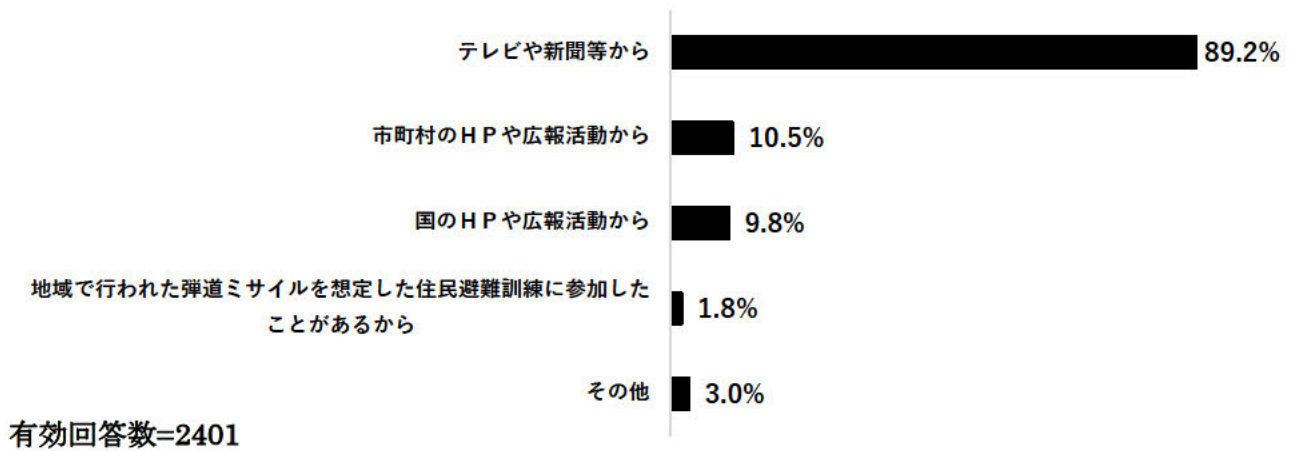
弾道ミサイル落下に備えてとるべき身の安全を守るための行動をご存じでしたか？[問9]



有効回答数=4000

身の安全を守るためにとるべき行動については、「知っていた」と回答した方が60%であった。

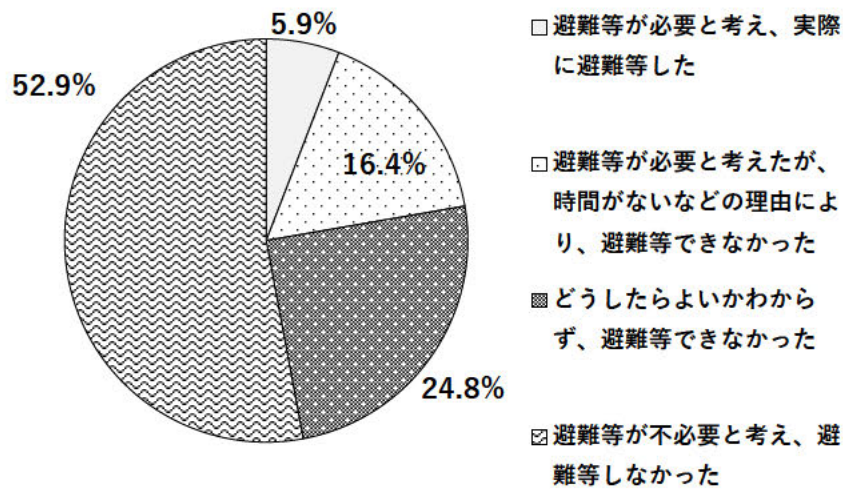
10 とるべき身の安全を守るための行動を知っていた方について
なぜご存じでしたか？（複数回答） [問 10]



身の安全を守るためにとるべき行動については、「テレビや新聞等から」知ったと回答した方が最も多く80%台後半であった。次いで「市町村のHPや広報活動から」と回答した方が10%台前半であった。

11 ミサイル発射を知った後の行動について

避難等（その時にいた窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所にとどまることも含む。）をしましたか？ [問 11]

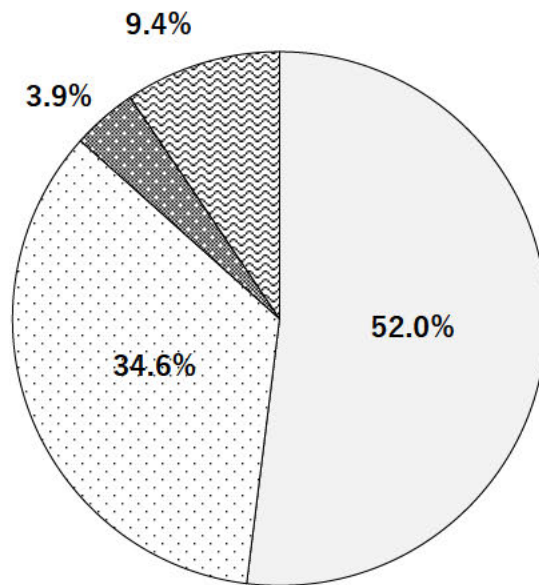


有効回答数=2282

ミサイル発射を知った後の行動については、「避難等が必要と考え、実際に避難等した」と回答した方が約6%であった。「避難等が不必要と考え、避難等しなかった」と回答した方は50%台前半であった。一方、「どうしたらよいかかわからず、避難等できなかった」と回答した方は20%台半ばであった。

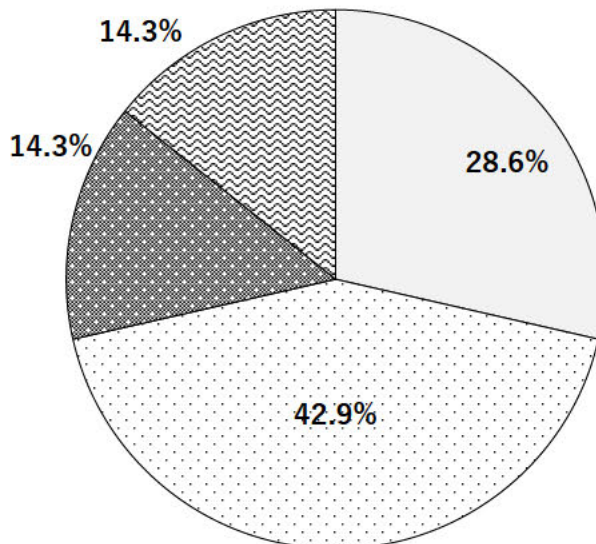
1 2 どのように避難等しましたか？[問 12]

(1) 屋内・地下にいた方



有効回答数=127

(2) 屋外にいた方

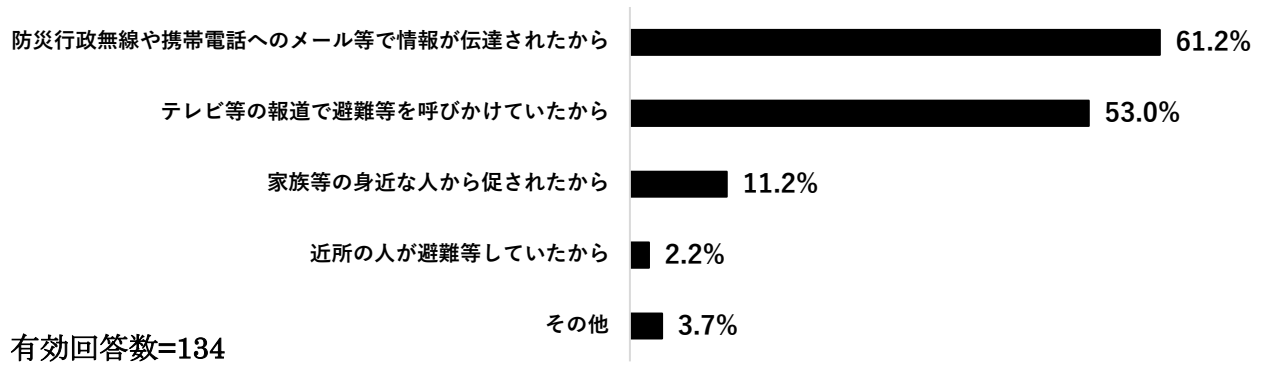


有効回答数=7

屋内・地下にいた方の避難行動については、「そのときにいた場所から窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所へ移動した」及び「そのときにいた場所（窓のない部屋（地下階を含む）又は窓からできるだけ離れた場所）にとどまった」と回答した方が80%台後半であった。

1.3 避難等したきっかけについて

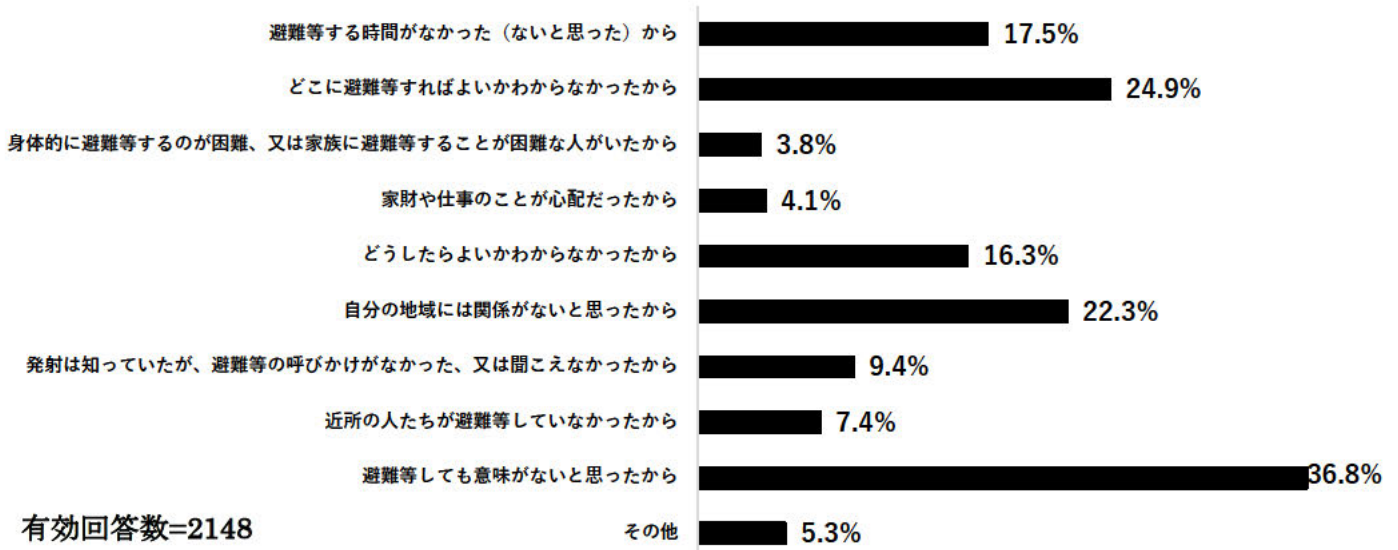
避難等したきっかけは何でしたか？（複数回答）[問 13]



避難等したきっかけについては、「防災行政無線や携帯電話へのメール等で情報が伝達されたから」と回答した方が最も多く 60%台前半であった。次いで「テレビ等の報道で避難等呼びかけていたから」と回答した方が 50%台前半であった。

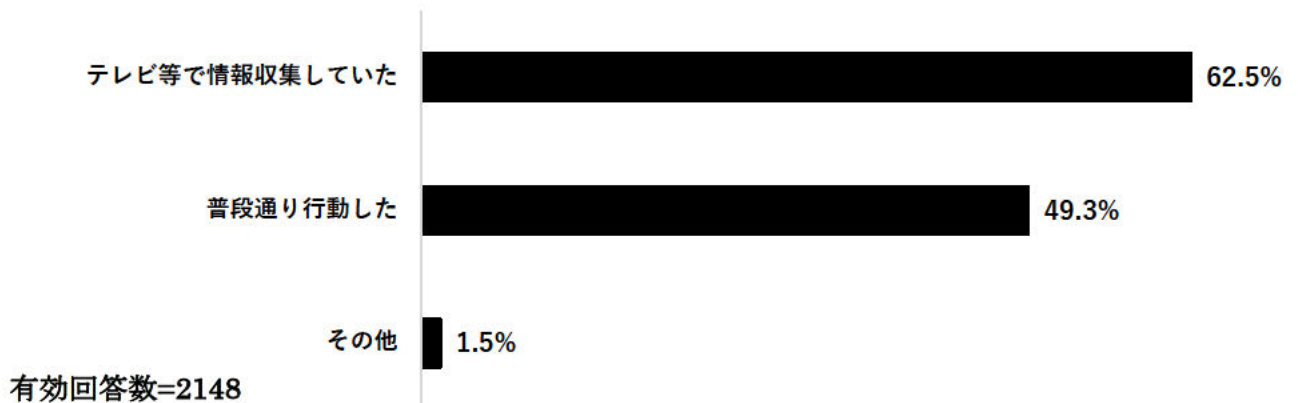
1.4 避難行動をとらなかったことについて

(1) なぜ避難できなかった（しなかった）のですか？（複数回答）[問 14]



避難行動をとらなかった理由については、「避難等しても意味がないと思ったから」が最も多く 30%台後半であった。次いで、「どこに避難等すればよいかわからなかったから」と回答した方が 20%台半ばであった。

(2) 避難等をせずに何をしていましたか？（複数回答）[問 15]



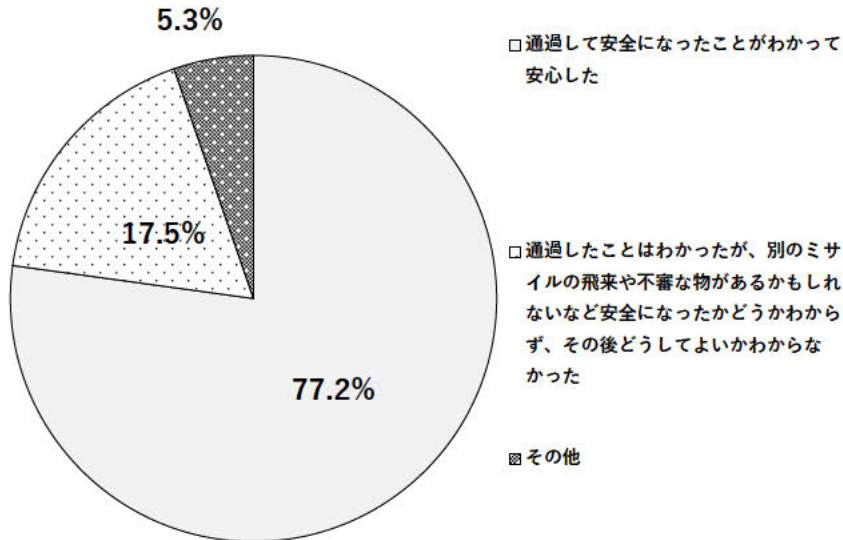
避難等をせずに行っていた行動については、「テレビ等で情報収集していた」と回答した方が最も多く 60%台前半であった。また、「普段通り行動した」と回答した方が 40%台後半であった。

15 ミサイル通過情報の伝達について

伝達された通過情報のメッセージについてどのように受け止めましたか？[問16]

<10月4日に伝達された通過情報のメッセージ>

「ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、07時29分頃、太平洋へ通過したものとみられます。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」



有効回答数=2282

ミサイル通過情報については、通過情報を聞いて「通過して安全になったことがわかって安心した」と回答した方が70%台後半であった。

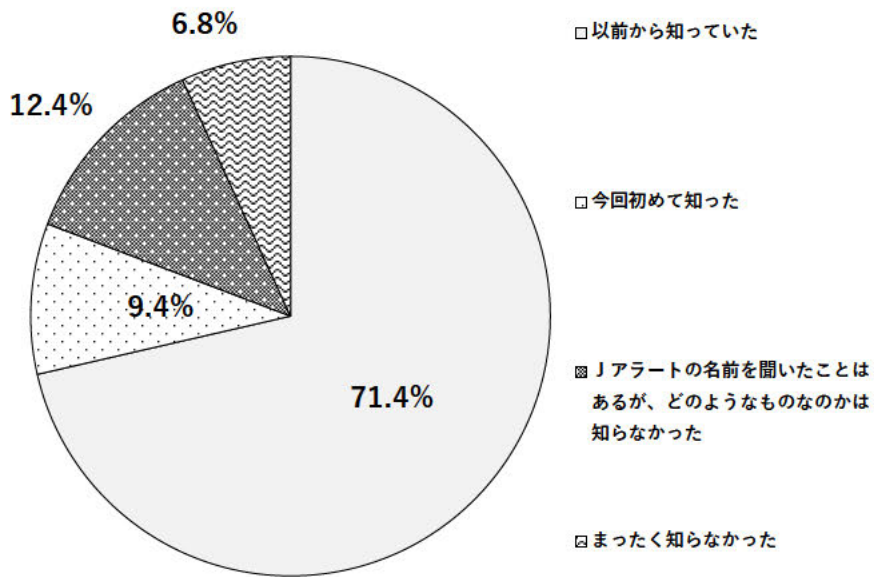
また、「通過したことはわかったが、別のミサイルの飛来や不審な物があるかもしれないなど安全になったかどうかかわからず、その後どうしてよいかわからなかった」と回答した方は10%台後半であった。

16 Jアラートについて

(1) ミサイルが発射されると、Jアラートにより情報が伝達されることをご存じでしたか？[問 17]

<Jアラート（全国瞬時警報システム）とは？>

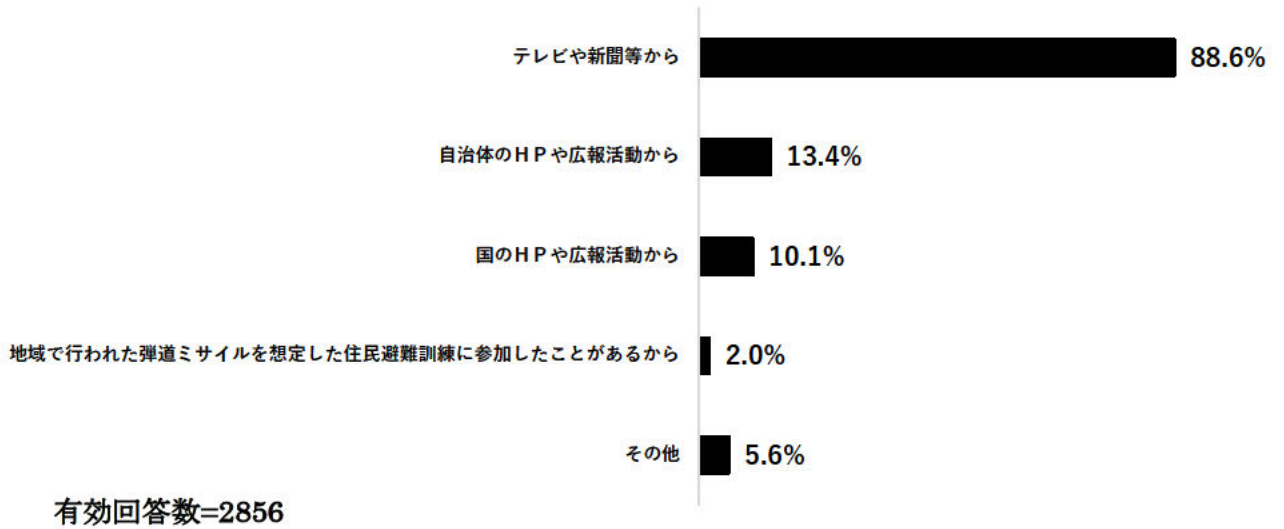
弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星及び地上回線を用いて国（内閣官房・気象庁から消防庁を経由）から送信し、市町村防災行政無線等を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム。



有効回答数=4000

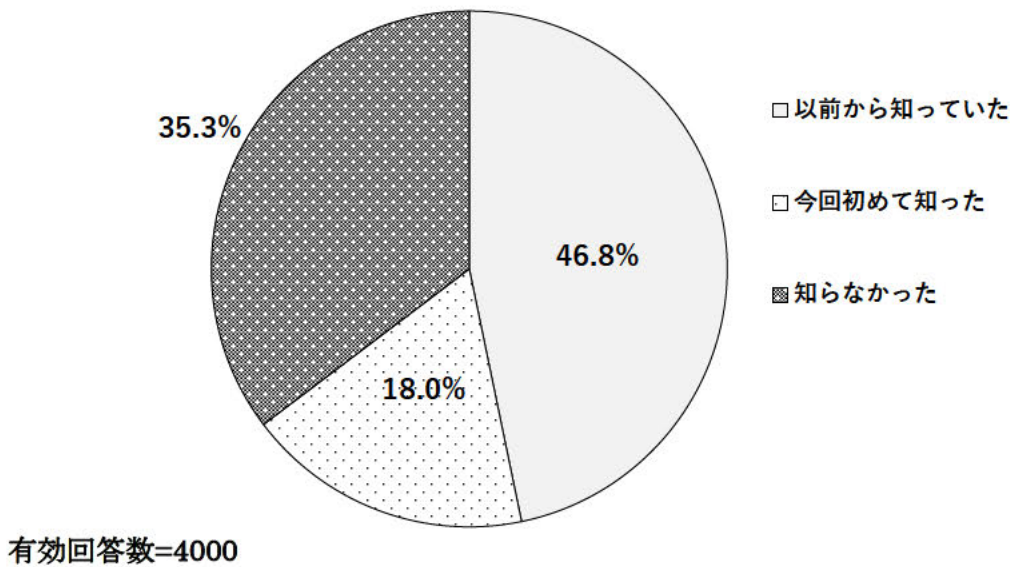
Jアラートについては、「以前から知っていた」と回答した方が70%台前半であった。

(2) (以前から知っていた方) なぜご存じでしたか? (複数回答) [問 18]



Jアラートを知っていた理由については、「テレビや新聞等から」と回答した方が最も多く 80%台後半であった。次いで、「自治体のHPや広報活動から」と回答したが 10%台前半であった。

(3) お住まいの地域でJアラートによる情報伝達がどのような手段（防災行政無線屋外スピーカー、自治体による登録制メール等）で行われるか、ご存じでしたか? [問 19]

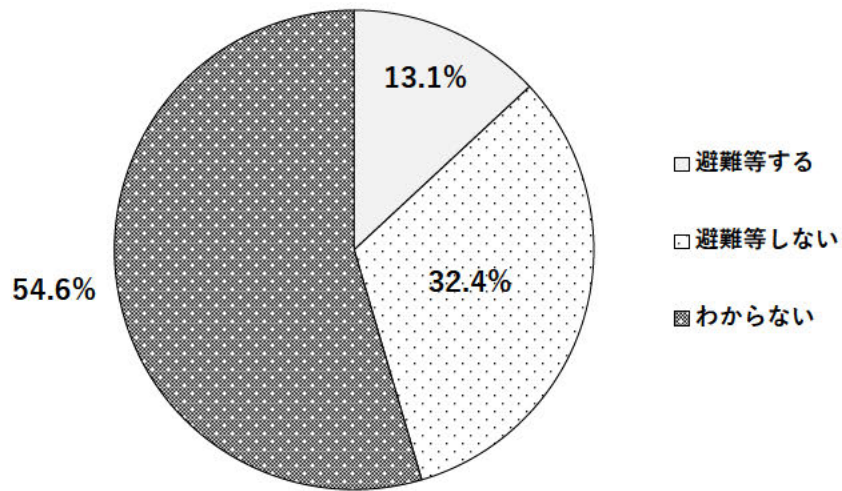


Jアラートによる情報の伝達手段については、「以前から知っていた」と回答した方が 40%台後半であった。

一方、「知らなかった」と回答した方が 30%台半ばであった。

17 今後について

(1) 今後再びミサイル発射情報が伝達された際には避難等しますか？ [問 20]

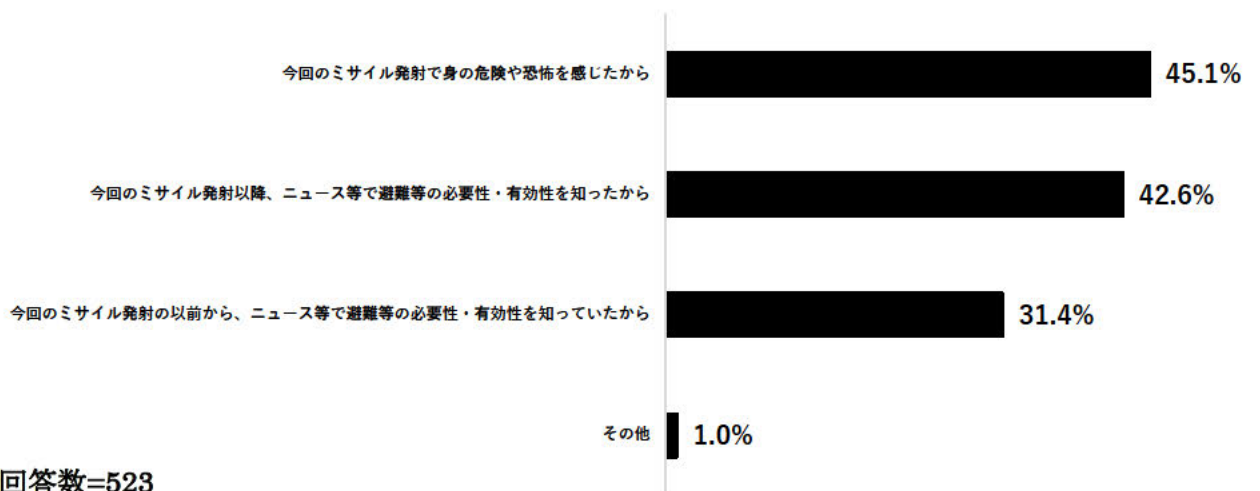


有効回答数=4000

今後ミサイル発射情報が伝達された際の避難等については、「避難等する」と回答した方が10%台前半であった。

また、「わからない」と回答した方が50%台半ばであった。

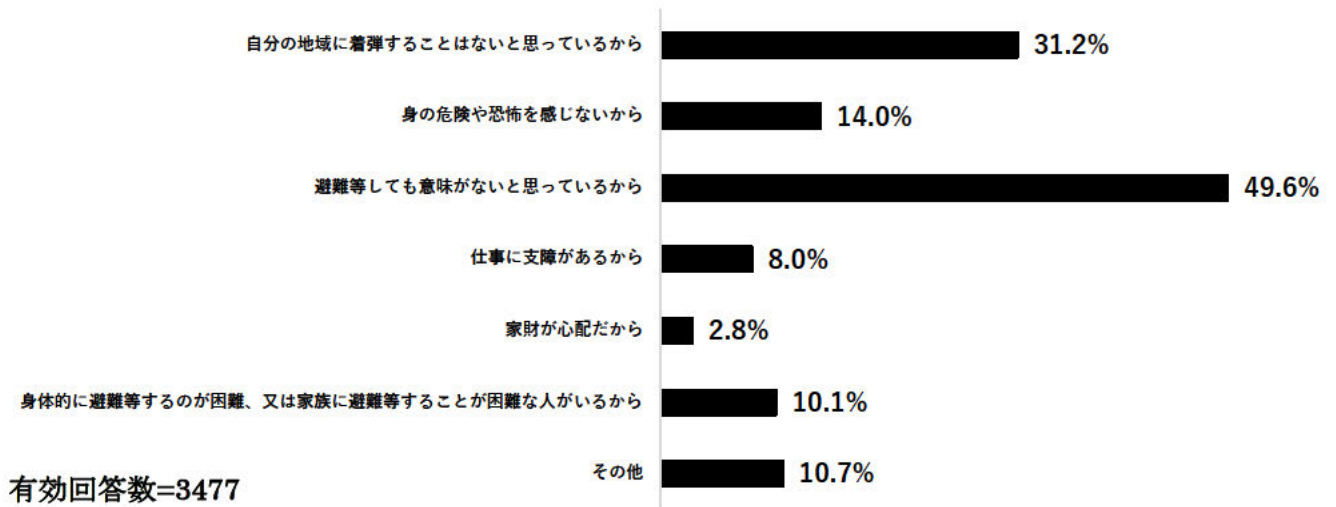
(2) (避難等すると回答した方) 避難しようと思われるのはなぜですか？ (複数回答) [問 21]



有効回答数=523

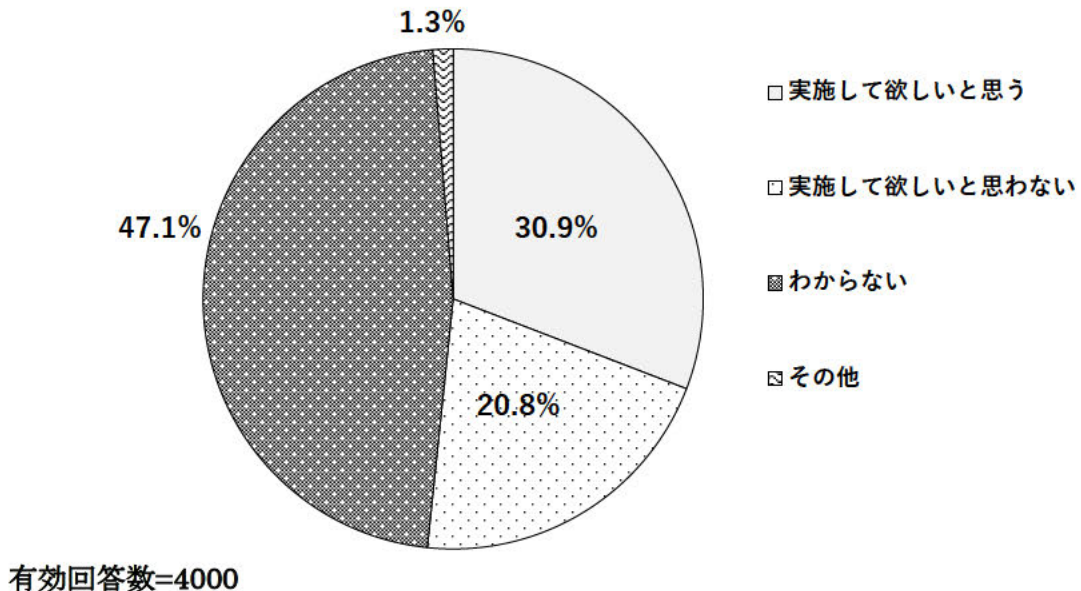
避難しようと思う理由については、「今回のミサイル発射で身の危険や恐怖を感じたから」と回答した方が最も多く40%台半ばであった。次いで「今回のミサイル発射以降、ニュース等で避難等の必要性・有効性を知ったから」と回答した方が40%台前半であった。

(3) (避難等しない、わからないと回答した方) 避難しようと思わないのはなぜですか? (複数回答) [問 22]



避難しようと思わない理由については、「避難等しても意味がないと思っているから」と回答した方が最も多く約 50%であった。次いで「自分の地域に着弾することはないと思っているから」と回答した方が 30%台前半であった。

(4) 今後、自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練を実施して欲しいと思いますか[問 23]



自治体等によるミサイル攻撃を想定した住民避難訓練については、「実施して欲しいと思う」と回答した方が 30%台前半であった。また、「実施して欲しいと思わない」と回答した方は 20%台前半であった。